＜2019年度＞

# 第６回理事会議案書

２０１９年 １１月２１日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

# ２０１９年度
# 第６回理事会 議事次第

一般社団法人 全 国 鐵 構 工 業 協 会

場　　所：　ホテルプラザオーサカ(大阪市)

日　　時：　2019 年 11 月 21 日（木）
15：00～17：30

１．開会の辞

２．定足数確認報告（定款第 36 条）

３．会長挨拶

４．前回理事会議事録の確認

５．審議事項　　資　料

第１号議案　賛助会員の新規入会承認の件 ---------- [理 19-6-議 1] <p3-4>

第２号議案　高規格材鉄骨製作支援制度継続の件 ---------- [理 19-6-議 2] <p5-7>〈別冊〉

第３号議案　働き方改革実施に向けた
当協会の統一目標設定の件 ---------- [理 19-6-議 3] <p8>〈別紙〉
〔時間外労働の上限規制<休日の確保>〕

６．報告事項

(1) 新年賀詞交歓会等実施要領(当日スケジュール、式次第 等) ---- [理 19-6-報 1] <p10-12>

(2) 緊急災害対策本部設置の件 ---------- [理 19-6-報 2] <p13>

(3) 溶接協会からの依頼への対応の件 ---------- [理 19-6-報 3] <p15-18>
<就職氷河期世代を定職に就かせるための溶接教育のニーズ調査>

(4) 代表理事等の業務執行状況報告---------- [理 19-6-報 4] <p19-20>

(5) 委員会等報告 ①運営委員会 ---------- [理 19-6-報 5①] <p21>
②技術委員会 ---------- [理 19-6-報 5②] <p22-24>
③教育・人材育成委員会 ---------- [理 19-6-報 5③] <別冊>
④品質管理委員会 ---------- [理 19-6-報 5④] <p25-27>
⑤クレーン免許対応ＷＧ ---------- [理 19-6-報 5⑤] <p29-30>

(6) その他 ・青年部アンケート結果報告(紹介) ・特定技能外国人受入分野追加希望調査/経産省
・高力ボルト需給に関するアンケート ---------- [理 19-6-報 6] <p31-36>〈別冊〉

７．その他の事項

(1) 構成員登録状況 ---------- [理 19-6-他 1] <p38-42>

(2) 着工面積と推計鉄骨需要量 ---------- [理 19-6-他 2] <p43>

(3) 主要会議日程 ---------- [理 19-6-他 3] <p45>

(4) 2020 年度主要会議日程(案) ---------- [理 19-6-他 4] <p46>

(5) 支部報告 ---------- [理 19-6-他 5] <p47-64>

(6) その他

８．閉会の辞

以上

## 第１号議案　賛助会員の新規入会承認の件

議案書[理 19-6-議 1]（p３）のとおり賛助会員として入会希望がありましたので、定款第６条第１項に基づきご審議のうえ入会を承認いただきたい。

## 第２号議案　高規格材鉄骨製作支援制度継続の件

2018 年 2 月に 5 年間の時限制度として運用を開始した「高規格材鉄骨製作支援制度」に関し、議案書[理 19-6-議 2]（p５）のとおり５年経過後も制度を継続させることといたしたく、ご審議のうえ承認いただきたい。

## 第３号議案　働き方改革実施に向けた当協会の統一目標設定の件

〔時間外労働の上限規制〈休日の確保〉〕

2020 年 4 月より、「働き方改革関連法」が当協会の大部分の構成員に適用されることをふまえ、特に、時間外労働時間の上限規制〈休日の確保〉遵守の実効性を担保するため、議案書[理 19-6-議 3]（p８）のとおり当協会の統一目標を設定することといたしたく、ご審議のうえ承認いただきたい。

[理19-6-議 1]

第1号議案： 賛助会員の新規入会承認の件

# 賛助会員　入会申込書

令和　元年　10月　7日

一般社団法人全国鐵構工業協会
会　長　　米森 昭夫　　殿

所 在 地　〒103-0028

会 社 名　小野建株式会社

代 表 者 役職・氏名　代表取締役社長　小野建

電話番号　093-571-1431

今般、下記事項記載の上、一般社団法人全国鐵構工業協会の賛助会員として入会を申し込みます。

記

1．資 本 金 額　4,299,803,865円

2．生 産 又 は 主要取扱品目　鋼材

3．主要取引銀行　みずほ銀行

4．連 絡 窓 口

担当部署・局名　建材部

担 当 者 役 職　課長

担 当 者 氏 名　小野　将

住　　所　東京都中央区八重洲 1-3-22　八重洲龍名館ビル 2F

電 話 番 号　03-3275-2161

F A X 番 号　03-3275-2163

E-Mail アドレス　m-ono@onoken.co.jp

以上

2019年10月16日

# 賛助会員の新規入会検討について

## ◎ 新規入会(希望)会社 概要

| 会 社 名 | 小 野 建 株 式 会 社 |
|---|---|
| 設 立 | 1949年8月11日 |
| 資 本 金 | 43億円 |
| 従 業 員 数 | 618名 (連結718名) |
| 株 主 | 金融機関 27.74% (ｵｰｴﾇﾄﾗｽﾄ㈱ 6.9%)<br>個人その他 44.57% |
| 主な事業内容 | 鉄鋼・建材流通商社<br>・鋼材の販売・加工ならびに輸出入業、<br>・金物・土木建築材料の販売、土木建築工事請負業、<br>・不動産の売買、賃貸業等 |
| 主要取引先<br>(業界) | 高炉メーカー、電炉メーカー、建材メーカー、<br>総合・鉄鋼商社<br>※顧客(建設、鉄工、造船、機械等) |
| 主要取引銀行 | |
| 本社、支店<br>ｾﾝﾀｰ、他拠点 | 本社 : 福岡県北九州市<br>拠点 : 9支店、19営業所、5センター、その他関連拠点有 |
| 経営指標 | |

| (決算年月) | 2015/3月 | 2016/3月 | 2017/3月 | 2018/3月 | 2019/3月 |
|---|---|---|---|---|---|
| 売上高(百万円) | 190,414 | 189,677 | 176,360 | 203,151 | 232,164 |
| 経常利益(百万円) | 4,324 | 4,488 | 5,630 | 7,190 | 6,680 |

| 会 社 沿 革 | | |
|---|---|---|
| | 1949/8月 | 大分県大分市に株式会社小野建材社(資本金100万円)を設立 |
| | 1957/2月 | 商号を小野建株式会社に変更 |
| | 1957/8月 | 小倉支店開設 ※鉄鋼商品の販売を本格化 |
| | 1983/8月 | 大阪営業所(現大阪支店)を開設 ※鉄鋼商品の輸入取扱開始 |
| | 1995/10月 | 東京事務所(現東京支店)を開設 |
| | 1999/1月 | 大阪証券取引所、福岡証券取引所に上場 |
| | 2003/12月 | 東京証券取引所市場第二部に上場 |
| | 2005/3月 | 東京証券取引所市場第一部に指定 |
| | | 全国各地に支店、営業所、ｾﾝﾀｰを開設 |

[理19-6-2]

# 第2号議案： 高規格材鉄骨製作支援制度継続の件

2019.11.21

## 高規格材鉄骨製作支援制度の継続の件

**1．趣旨**

◆ 高規格材鉄骨製作支援制度は、2018 年 2 月に 5 年間の期間限定制度として運用を開始した。

◆ 2019 年 10 月 28 日に行われた第 2 回高規格材鉄骨製作支援委員会（委員長：田中淳夫 宇都宮大学名誉教授）において、以下の背景と理由により期間を限定せずに本制度を継続すべしとの方針で一致した。

◆ これを受け、本理事会において、本制度の継続と運用規程・業務約款の改定案の承認をいただきたい。

**2．現状の制度の実施期間と確認書の有効期間**

1) 本制度を実施する期間は、2018 年 2 月から 2023 年 3 月までとする。

・本制度の目的は、首都圏の高層大型プロジェクトの鉄骨需要増大に対する緊急対応措置であり、2018 年から 5 年間が需要のピークと予測されている。

・6 年目以降の鉄骨需要については不透明なので、現状では制度の必要性が判断できない。

2) 確認書の有効期間は、発行日にかかわらず、2023 年 3 月 31 日までとする。

・制度終了後も確認書が有効とした場合、残りの期間の確認書の追加変更、再発行等の手続きができない。

**3．制度の継続の理由**

1) 設計事務所、ゼネコンおよびその業界団体から制度継続の要望が多い。また、工場選定の選択肢を増やすために、高規格材適合工場数の増加が求められている。＜別紙 1、2 参照＞

2) 制度があと 3 年余りで終了となっていると、工場の本制度に応募する意欲が弱まり、適合工場の数が増えない。

3) 高層大型プロジェクトの鉄骨需要は東京オリンピック後も旺盛と見込まれ、550N 鋼適用鉄骨の比率も増加傾向にある。

**4．継続の場合の制度の変更内容**

1) 確認書の有効期間の変更

・新規の確認書の有効期間は、発行日から 5 年間とする。

・追加・変更および修正する場合の確認書の有効期間は、従前の確認書の有効期限までとする。

・既に交付されている確認書の有効期限は、2023 年 3 月 31 日のままとする。

2) 確認書の更新手続きの追加

・有効期限の 1 年前から 3 ヶ月前までの間に更新申請を行えば、確認書の有効期限を 5 年間延長することができる。

3) 手数料の変更

・新規の場合の手数料は、受付時期にかかわらず 50 万円とする。（従来は、有効期間 5 年で 50 万円、4 年で 40 万円、3 年以下で 30 万円。）

・更新の場合の手数料は、追加・変更のある場合 20 万円、ない場合 5 万円とする。

4) 利用の手引き、運用規程、業務約款の改定

・制度の変更内容をこれらの文書に反映させる。＜別紙 3～5（別冊）参照＞

以上

別紙 1

2019.9.10

# 全構協高規格材（550N）適合工場の PR 活動まとめ

## 1．目的

昨年 3 月から運用を開始した高規格材製作支援制度において、本年 5 月で適合工場が 6 工場に達した。これらの工場を 550N 鋼適用物件の鉄骨製作工場として活用してもらうため、デベロッパー、設計事務所、ゼネコンおよび業界団体に対して PR 活動を行った。

## 2．訪問先と出席者等

| No. | 訪問先 | 日程 | 出席者数 | 部署とキーマン | 説明者 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 三井不動産 | 6/25 | 6 | 建築技術部：石川部長 | 藤澤社長※1、猪砂、千田 |
| 2 | 松田平田設計 | 6/12 | 6 | 構造設計部：平岡部長 | 竹原社長※2、猪砂、千田 |
| 3 | 三菱地所設計 | 6/26 | 4 | 構造設計部：小川執行役員 | 竹原社長、猪砂 |
| 4 | 日本設計 | 6/25 | 5 | 構造設計群：小林執行役員 | 竹原会長※2、猪砂、千田 |
| 5 | 久米設計 | 6/13 | 2 | 環境技術本部：嵐山執行役員 | 竹原社長、猪砂 |
| 6 | NTT ファシリティーズ | 6/12 | 2 | 構造設計部：二宮部門長 | 竹原社長、猪砂、千田 |
| 7 | 竹中工務店 | 6/26 | 3 | 技術部：三村副部長 | 竹原社長、猪砂 |
| 8 | 清水建設 | 6/26 | 4 | 構造設計 3 部：横山部長 | 竹原社長、猪砂 |
| 9 | 鹿島建設 | 6/12 | 5 | 調達部：佐藤担当部長 | 竹原社長、猪砂、千田 |
| 10 | 戸田建設 | 7/4 | 5 | 構造設計部：中原部長 | 藤澤社長、猪砂 |
| 11 | 日建連 | 8/9 | 25 | 建築生産委員会 鉄骨専門部会：犬伏部会長（清水建設） | 猪砂、千田 |
| 12 | JSCA | 8/21 | 10 | 金属系部会：渡辺部会長（久米設計） | 猪砂、千田 |
| 13 | AW 検定協会 | 8/23 | 13 | 早野会長（山下設計） | 千田 |

※1：千代田興業、※2：竹原鉄工所

## 3．主な意見

(1) 本制度の評価

・全ての会社と団体で概ね「良い制度」との評価。主な理由は：

・溶接施工試験に毎回金と時間を使う必要がなくなる。

・統一的な評価基準があるので、各工事で溶接試験を行う場合の評価のばらつきがなくなる。

・550N 鋼の適用物件が増えてきているので、ファブの選択肢が増えることは良い。

(2) 有効期限

・2023 年 3 月までの期間限定制度では特記仕様書に記載しにくい。

・良い制度なので長く続けてほしい。

(3) 適合工場数

・適合工場が 6 社ではファブ選定の自由度が少ない。もっと増やすべきだ。

・実際の物件対応のためには、各工場は平板継手も含めて広い適用範囲で取得してほしい。

(4) 特記仕様書への記載方法

・概ね全構協の提案する仕様書記載例（3 例）で問題ない。

・全構協適合工場に限定されると選択肢が狭まるので、個別溶接試験との併記の例が良い。

(5) その他

・同じ種別で異なるメーカーの鋼材にも適用できるようなガイドラインとしてほしい。（設計者判断ではリスクがある。）

以上

別紙２

# 全構協 高規格材(550N)適合工場リスト

2019年10月28日現在

| 確認書番号 | 区分 | 確認書発行日 | 確認書有効期限 | 工場名 | 所在地 | 適用種別 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| JSFA-001 | | 2018.6.11 | 2023.3.31 | 千代田興業株式会社 | 秋田県 | C |
| JSFA-002 | | 2018.6.19 | 2023.3.31 | 株式会社ヨネモリ本社工場 | 石川県 | C, CT, CTN. T2 |
| JSFA-003 | | 2018.7.18 | 2023.3.31 | 株式会社竹原鉄工所本社工場 | 北海道 | C |
| JSFA-004 | | 2019.4.11 | 2023.3.31 | 本田鉄工株式会社 | 石川県 | C |
| JSFA-005 | | 2019.4.11 | 2023.3.31 | 株式会社ムラヤマ山形工場 | 山形県 | T1 |
| JSFA-006 | | 2019.4.11 | 2023.3.31 | 株式会社ムラヤマ酒田工場 | 山形県 | T1, C |
| JSFA-009 | 追加 | 2019.9.2 | | | | |
| JSFA-007 | | 2019.6.14 | 2023.3.31 | 旭イノベックス株式会社 | 北海道 | C, CT, CTN, CTF, P, T1, T2 |
| JSFA-008 | | 2019.9.2 | 2023.3.31 | 株式会社日成興産 | 北海道 | C, CT, CTF, T2 |

＜備考＞適用種別の定義

| 種別 | 定　義 |
|---|---|
| C | ロボット溶接による角形鋼管継手で、平板部の靭性のみが保証された角形鋼管を使用する。 |
| CT | ロボット溶接による角形鋼管継手で、平板部と角部の靭性が保証された角形鋼管を使用する。 |
| CTN | ロボット溶接による角形鋼管継手で、平板部と角部の靭性が保証された角形鋼管を使用するとともに、溶接にNBFW積層法を適用することで冷間成形角形鋼管の設計付加事項の適用が除外できる。 |
| CTF | ロボット溶接による角形鋼管継手で、平板部と角部の靭性が保証されHAZの靭性が改善された角形鋼管を使用するとともに、冷間成形角形鋼管の設計付加事項の適用が除外できる。 |
| P | ロボット溶接による円形鋼管継手。 |
| T1 | ロボット溶接による平板継手で、通しダイアフラムと梁フランジの溶接部および梁フランジ同士の溶接部に適用する。 |
| T2 | $CO_2$半自動溶接による平板継手で、通しダイアフラムと梁フランジの溶接部および梁フランジ同士の溶接部に適用する。 |

[理19-6-議3]

**第3号議案： 働き方改革に向けた当協会の統一目標設定の件**

2019年11月21日

## 「働き方」改革実施に向けた当協会の統一目標設定について

〔 時間外労働の上限規制 ＜休日の確保＞ 〕

**全構協の統一目標（取組み）**

○日建連が2017年12月に発表している「週休二日実現行動計画」に合わせ、
全構協の統一目標として
『 ４週６休（原則として第2、第4土曜日を休日とする）とする 』
○上記内容を、日建連、全建、個別のゼネコン・設計事務所等関係先に通知するとともに、報道発表等により周知を図る。

**（１）背景（現状認識）**

２０２０年４月より、一部の総合建設業対象企業を除き、当協会の大部分の構成員企業（ファブ）に対して、「働き方」改革関連法規が適用されることになる。
（遵守内容については、本年9月に「運営委員会」が、整理・発信〈別紙〉。）
一方、取引先〈施主、ゼネコン等〉との関係もあり、ファブ各社が「働き方改革」への認識を持つ（ファブの自助努力）だけでは、実施は難しいのが実情である。

**（２）「働き方」改革実現に向けての課題と取組み（※業界としての課題）**

◎「働き方改革」関連の各課題の中でも、
「時間外労働の上限規制」が、達成において最も大きな課題である。

・建て方現場における働き方については、ゼネコンの影響が大きい。
・特に、土日については、ゼネコンの工事日程次第で稼動が決まる。また各ゼネコン間で、休日体制（いつ休むか）が統一されていないのが実態である。
・ファブ側で、「現場の土日休日」を決定するのは難しい。
・「現場」の休日対応について、業界として団結（統一）して取組むべき。

・具体的には、日建連が2017年12月に発表している「週休二日実現行動計画（建設現場に従事する全ての者が、確実に週休二日の休日を確保する）」に沿った活動を、日建連と足並みを揃え、共同歩調で進めて行く ⇒ 連携の申入れ

・第2、第4土曜日を休みとし、4週6閉所の日建連活動に足並みを揃える。

※本活動は、「建て方現場」を対象とし、各社の自社工場内の働き方（休日対応）は各社の個別活動とし、本統一目標の対象としない。

**（３）関係者間で整理すべき周辺課題**

◎仕事（受注）への影響評価（整理）
・納期、工期設定、納入対応（月曜納入等）への、土曜休日影響
・関係先（施主、設計事務所、ゼネコン）への土曜休日の周知・理解化活動
・ファブ内（同業者間）での方向性共有化、歩調合せ
◎活動（周知）スタート時期、条件の整理

以上

# 報 告 事 項

# 2020年新年賀詞交歓会〔１月１７日（金)〕
# 当日のスケジュール

１．場　　所　　鉄鋼会館
東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10
TEL　03-3669-4856

２．時 間 割

（1）三 役 会　　９：３０～１１：３０　　会 長 室

（2）理 事 会　　１２：００～１４：００　　８０５号室

（3）全国理事長会　　１４：１５～１６：１５　　７０１号室
〔次　第〕　　[進行：平井総務部長]

① 会長挨拶　　14：15-14：25

② 事業報告等　　14：25-14：55
（各委員会 3～5 分）
・企画委員会 ---------- 村山委員長
・教育・人材育成委員会 -- 高橋委員長
・品質管理委員会委員長-- 永井委員長
・運営委員会 ---------- 大島委員長
・技術委員会 ---------- 神崎委員長

③ 講　演　　15：00-16：15
講　師：　高塚哲広(たかつかてつひろ)氏
〔気象予報士、気象環境ジャーナリスト、危機管理士(自然災害)〕

テーマ：　(仮)最近の自然災害と防災対策
～中小企業としての危機管理～

（4）新年賀詞交歓会　　１６：３０～１８：００　　９０１号室
〔次　第〕　　[進行：○○○]

① 会長挨拶　　(一社)全国鐵構工業協会　会長　米 森 昭 夫

② 来賓挨拶　　参議院議員　佐 藤 信 秋 様
参議院議員　足 立 敏 之 様
経済産業省 製造産業局金属課長　黒 田 紀 幸 様
国土交通省 住宅局建築指導課長　長谷川 貴彦様

③ 乾　杯　　(一社)全国鐵構工業協会　〔玉 木 顧 問〕

④ 中　締　　(一社)全国鐵構工業協会　〔村 山 副 会 長〕

以　上

## 高塚哲広たかつかてつひろ

気象予報士、気象環境ジャーナリスト、危機管理士(自然災害)

テーマ:要相談

■職歴・経歴

1958年生まれ

1982年 立命館大学経済学部卒業

1982年 朝日放送株式会社入社

1994年 第1回気象予報士試験合格

1996年 民間気象会社設立

2006～現在 フリーアナウンサー、ナレーター、放送・CMコンテンツ企画制作

■出演番組

「ニュースサンデー」(日本テレビ)気象キャスター

「ストレイトニュース」(日本テレビ)気象キャスター

「シューイチ」(日本テレビ)気象解説

■専門分野

気象・環境、防災、話し方の技術、コミュニケーション術

■資格

気象予報士(第1回試験合格)

危機管理士(自然災害)

2級ファイナンシャルプランニング技能士

トータル・ライフ・コンサルタント(生命保険協会認定FP)

■主な著作物・マスコミ活動ほか

【連載】

朝日新聞金曜夕刊(近畿版)コラム「おてん記」(1996年10月～1999年12月)

学研週間パーゴルフ「高塚てつ彦のゴルフ天気学」(1996年10月～1999年12月)

【主な著書】

『やさしくわかる気象・天気の知識』(西東社/現在絶版)

【講演実績】

◎自然災害に備える

～自分・家族を守るための考え方と備え方～

気象予報士、危機管理士、ファイナンシャルプランナーの資格を持ち、その知識から自然災害から総合的に身を守る方法をお話しします。 自然災害大国である日本。 いつ自分自身が被災をしてしまうかは分かりません。...

プランへ移動

◎気候変動が現場を襲う！

～激甚気象災害から身を守るための現場管理術～

1.地球温暖化の現実 2.今世紀末までの気候変動予測 3.気候変動に伴う現場への影響 4.異常気象と現場災害の実際 5.現場の安全を守る正しい気象情報活用法 6.現場を危険にする雨を見逃さないポイント...

プランへ移動

◎これだけは知っておきたい！気象・天気の知識

～異常気象や気象災害から人命と会社を守るために～

ゲリラ豪雨、ラニーニャ、エルニーニョ、猛暑日、熱中症・・・。昨今、気象に関するニュースが増えました。異常気象で怖いのは経済活動への影響と人の生命を奪う気象災害です。人命を守り、経済活動への影響を最小限...

プランへ移動

2019年11月21日

# 緊急災害対策本部設置について

## 1.「台風15・19号緊急災害対策本部」

台風15号、19号の被害が甚大であることをふまえ、「緊急災害対策本部」を設置。

＜本部体制＞ ・本部長 ： 伊藤理事

・委 員 ： 渡辺理事（東北支部長）、大竹理事（関東支部長）

## 2. 台風15号、19号 被災状況

| 支部 | 県No. | 都道府県 | 被災状況 | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 被災企業有無 | 被災組合員数 | （内容） 浸水等（生産影響無し） | 機器損壊 | 操業停止（未復旧） | （災害見舞金） | （生産影響無） | 被害有（20万） | 被害大（50万） | （支部） | （会費減免） | 無 | 有 | （支部） |
| 東北 | 2 | 青森 | | | | | | | | | | | 0 | | | |
| | 3 | 岩手 | 有 | 3 | | | | 0 | | | | | 0 | | | |
| | 4 | 宮城 | 有 | 3 | | | | 0 | | | | | 0 | | | |
| | 5 | 秋田 | | | | | | | | | | | 0 | | | |
| | 6 | 山形 | | | | | | | | | | | 0 | | | |
| | 7 | 福島 | 有 | 9 | | | | 0 | | | | 0 | 0 | | | |
| 関東 | 8 | 茨城 | | | | | | | | | | | 0 | | | |
| | 9 | 栃木 | 有 | 2 | | | | 0 | | | | | 0 | | | |
| | 10 | 群馬 | | | | | | | | | | | 0 | | | |
| | 11 | 埼玉 | 有 | 5 | | | | 0 | | | | | 0 | | | |
| | 12 | 千葉 | 有 | | | | | 0 | | | | | 0 | | | |
| | 13 | 東京 | 有 | | | | | 0 | | | | | 0 | | | |
| | 14 | 神奈川 | 有 | | | | | 0 | | | | | 0 | | | |
| | 15 | 新潟 | | | | | | | | | | | 0 | | | |
| | 19 | 山梨 | | | | | | | | | | | 0 | | | |
| | 20 | 長野 | 有 | 8 | | | | 0 | | | | 0 | 0 | | | |
| 北陸 | 16 | 富山 | | | | | | | | | | | 0 | | | |
| | 17 | 石川 | | | | | | | | | | | 0 | | | |
| | 18 | 福井 | | | | | | | | | | 0 | 0 | | | |
| 中部 | 21 | 岐阜 | | | | | | | | | | | 0 | | | |
| | 22 | 静岡 | 有 | 7 | | | | 0 | | | | | 0 | | | |
| | 23 | 愛知 | | | | | | | | | | | 0 | | | |
| | 24 | 三重 | | | | | | | | | | 0 | 0 | | | |
| | | | 10 | 37 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

2019年10月21日

一般社団法人 全国鐵構工業協会
会員会社 各位

一般社団法人　日本溶接協会
専務理事　水沼　渉

就職氷河期世代を定職に就かせるための溶接教育のニーズ調査のお願い

拝啓　貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より当協会の事業にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、政府及び厚生労働省ではマスコミ等で対策が急務とされている就職氷河期世代を定職に就かせるための教育事業を検討しており、今年中には事業の骨子を固め来年早々にも公募する計画です。当協会に対しては厚生労働省より本事業への協力要請が来ており、公募に対する応札を検討中です。

溶接教育は当協会の活動指針に示すとおり就労人口減少による溶接技能者不足解消に向けた重要な施策の一つであり、実現可能な事業計画を立案し本事業へ協力したいと考えておりますが、本事業の成否は教育を受け、溶接の専門資格を取得した就職氷河期世代の方々を企業側にて社員として採用する意向があるかどうかにかかっています。

つきましては本事業に取り掛かる前に、企業のニーズ調査を行わせていただき、実効性のある事業となるよう国に対して働きかけてまいりたいと考えております。

ご多忙のところ恐縮に存じますが、貴社のニーズやご意見を別紙調査票（アンケート）にご記入の上、ご加入の各都道府県団体宛送付をお願い申し上げます。

なお、本調査はあくまでニーズ調査を行う目的のものであり、将来の雇用をお約束いただくものではありません。また、本調査の集計結果において、社名やご担当者名は公表いたしません。

敬具

この調査についてのお問い合わせ先

一般社団法人　日本溶接協会
事務局長　鈴木　和美
東京都千代田区神田佐久間町4-20
TEL:03-5823-6322
FAX:03-5823-5244
suzukik@jwes.or.jp

## 就職氷河期を定職に就かせるための溶接技能者教育事業の内容

1. 時期

   2020年4月～2023年3月

2. 対象

   35～50才の非正規雇用者もしくは不就労者（男女問わず）
   日本国籍で雇用保険の加入、非加入は問わない

3. 人数

   全国で100人以上／年（実施できる県で10人／県／年を目標）

4. 教育内容

   初心者教育から専門級資格取得まで

5. 教育期間

   最大3ヶ月程度（集中的に教育する）

6. 教育の実施案

   受託：　日本溶接協会が厚労省より受託し、各都道府県溶接協会が再受託
   教育：　日本溶接協会教育委員会が新たに開発する教育カリキュラムで教育、
   途中で採用予定企業でのインターンシップを実施したい
   講師：　日本溶接協会公認の講師（日本溶接協会マイスター中心）
   会場：　未定

7. 費用

   教育費、受験料　：　無料（厚労省が負担）
   交通費、宿泊費　：　未定（厚労省が負担で調整中）
   就業等の補償　：　本事業では無し（既存の不就労補償を活用）

8. マッチング

   PRを実施し、具体的求人はハローワーク及び各企業の掘り起こしを期待
   資格取得者（教育修了者）の7～8割を就職させたい

9. その他

   溶接ママ育成を狙った女性専用コースの設定も検討中
   （福井鐵工株式会社の取り組み参照。「溶接ママ」で検索ください）
   http://www.tecco.co.jp/recruit-woman/

以上

提出先 FAX：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

就職氷河期世代を定職に就かせるための溶接教育に関するアンケート

(回答者)

会社名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1. 貴社（事業所）の所在地と業種を教えてください。

所在地(都道府県・市区町村)：

業　種：

(1) 造船関係　(2) 圧力容器関係　(3) プラント関係　(4) 電力関係

(5) 建設機械・輸送機器　(6) 橋梁・土木　(7) 建築鉄骨

(8) 建設業　(9) 部品製造業　(10)その他製造業

2. 日本溶接協会が35～50歳（就職氷河期世代）の非正規雇用者などを教育・育成し、例えば建築鉄骨の溶接専門資格（SA-3V や SA-3H など）を取得させた場合、貴社には教育修了者を雇用するニーズがありますか？
（将来の雇用をお約束いただくものではありません）
「有」の場合、年間に雇用できるおおよその人数見通し（男女別・年代別人数）を教えてください。

| 年　齢 | 男性ニーズ | 女性ニーズ |
|---|---|---|
| ３５～４０歳 | 有（　　人）・無 | 有（　　人）・無 |
| ４１～４５歳 | 有（　　人）・無 | 有（　　人）・無 |
| ４６～５０歳 | 有（　　人）・無 | 有（　　人）・無 |

会社名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（２ページ目にも会社名をお書きください）

3. 2.の設問ですべての年齢区分において「無」と回答された方へお尋ねします。
その理由を教えてください。

［　　］

4. 2.の設問でお尋ねした内容の教育（短期集中教育）が受講料無料、交通費無料で受けられる場合、就職氷河期世代にあたる貴社の非正規社員（アルバイトなどで溶接従事を問わない）や、近隣の知人（主婦など）に教育を受けさせ資格取得の上で、貴社で正規社員として働いてもらう可能性はありますか？

（１）貴社の非正規社員　　有り　・　無し

（２）近隣の知人（主婦など）　　有り　・　無し

5. 就職氷河期世代を定職に就かせるための本教育事業に対し、教育内容を含めてご意見があればお書きください。

［　　］

ご協力ありがとうございました。　　一般社団法人　日本溶接協会

2019. 11. 21.

# 代表理事等の業務執行状況報告

法人法第91条第2項及び定款第24条第6項に基づき、2019年度4月から現在までの業務施行状況について、下記のとおり報告します。

なお、各事項の詳細内容については、2019年度第1回理事会から第6回理事会において説明・報告済であるため、本日の報告は、項目の報告のみといたします。

| | 代表理事 | 業務執行理事(専) | 業務執行理事(常) |
|---|---|---|---|
| **1. 協会の運営全般に関する事項** | | | |
| (1) 通常総会の開催・運営、参加 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 第52回通常総会(2019年 6月 7日開催) | | | |
| (2) 理事会の開催・運営 | ◎ | ◎ | |
| ・第1回理事会 (2019年 5月21日開催) | | | |
| ・第2回理事会 (2019年 6月7日開催) | ◎ | ◎ | |
| ・第3回理事会 (2019年 6月7日開催) | | | |
| ・第4回理事会 (2019年 7月11日開催) | ◎ | ◎ | ◎ |
| ・第5回理事会 (2019年 9月19日開催) | | | |
| ・第6回理事会 (2019年 11月21日開催) | ◎ | ◎ | ◎ |
| (3) 委員会の開催・運営、参加 | | | |
| ・運営委員会 ・6月20日 ・8月27日 ・11月6日 | | ◎ | ◎ |
| ・技術委員会 ・10月17日 | | ◎ | ◎ |
| ・企画委員会 ・5月22日 ・7月12日 ・9月20日 | | | ◎ |
| ・教育・人材育成委員会 ・5月22日 ・7月12日 ・9月20日 | | | ◎ |
| ・品質管理委員会 ・5月22日 ・7月11日 ・9月20日 | | | ◎ |
| ・高規格材鉄骨製作支援委員会 ・10月28日 | | ◎ | ◎ |
| ・特定技能外国人受入検討WG ・4月18日 ・7月10日 | | | ◎ |
| ・無線操作式クレーン免許対応WG ・5月14日 ・8月7日 | | | ◎ |
| (4) その他会議等の開催・運営、参加 | | | |
| ・三役会 ・4月5日 ～ 11月21日(全12回) | ◎ | ◎ | ◎ |
| ・全国事務局長会議 ・4月5日 | ◎ | ◎ | ◎ |
| ・鉄骨技術審議会 ・8月29日 | ◎ | ◎ | ◎ |
| ・鉄骨製作支援協議会 運営会議 ・5月15日 ・11月18日 | ◎ | ◎ | ◎ |
| (5) 2018年度事業報告及び決算報告とりまとめ | ◎ | ◎ | ◎ |
| **2. 会員に対する協会運営方針等の説明・周知及び 会員意見の聴取** | | | |
| (1) 各県組合総会及び支部会等への出席及び意見交換 (一部県・支部) | | | |
| ・5/22 群馬 ・5/23 愛知 ・5/24 高知 | ◎ | ◎ | |
| ・5/28 福岡 ・5/31 三重 | ◎ | ◎ | |
| ・6/11 東北支部 ・7/8 北陸支部 ・8/21 九州支部 | ◎ | ◎ | ◎ |
| ・9/27 四国支部 ・10/3 中国支部 ・10/7 中部支部 | ◎ | ◎ | ◎ |
| (2)賛助会員との懇談会 | | | |
| ・賛助会員34社(団体)＆当協会理事全員 9月19日 | ◎ | ◎ | ◎ |

(代表理事＝米森会長。
業務執行理事(専)＝6月7日まで齊藤専務理事. 6月7日から辰巳専務理事。業務執行理事(常)＝6月7日から大橋常務理事。

| | 代表理事 | 業務執行理事(専) | 業務執行理事(常) |
|---|---|---|---|
| **3.陳情活動等** | | | |
| (1) 鉄建協との共同陳情への参加　7月17日～8月7日 | ◎ | ◎ | ◎ |
| **4.青年部会の育成等** | | | |
| (1) 青年部総会･全国大会への出席 (4月20日/名古屋) | ◎ | ◎ | |
| (2) 青年部会三役との懇談会 (7月7日) | ◎ | ◎ | ◎ |
| (3) 各県青年部代表者との懇談会 (9月20日) | ◎ | ◎ | ◎ |
| **5.対外活動及び他団体との連携強化** | | | |
| (1) 評価機構 | | | |
| ・取締役会 ･5/22 ･6/7 ･10/11 ・総会 6/7 | ◎ | ◎ | |
| (2) 鉄骨技術者教育センター | | | |
| ・理事会 ･5/15 ･6/24 ･8/19 ･11/18 ・総会 6/24 | ◎ | | |
| (3) その他団体等 | | | |
| ・JSCA 総会 6/18 ・幹部との懇談会 6/20 | ◎ | ◎ | |
| ・日本鋼構造協会 総会 6/20 | ◎ | ◎ | |
| ・CIW 幹部との懇談会 7/10 | ◎ | ◎ | |
| ・日鉄 建材事業部懇談 7/3 ・JFEスチール建材部門懇談 8/28 | ◎ | ◎ | ◎ |
| ・非破壊検査工業会懇談 7/25 | ◎ | ◎ | |

2019年11月13日

# 後継経営者研修についての方向性整理

## 1)後継経営者研修会の基本的方針

①単なる座学ではなく、双方向的(体感的な)研修、身につく研修である事、繰り返し学習(自習)出来る様なツールも検討・準備する事。
②継続性、安定性を確保し、多地区開催を前提とした研修会である事。
③時宜を得たテーマ、旬のテーマ等、今必要な内容(テーマ)をタイムリーに提供出来る研修会である事。

## 2)研修会の内容と運営 (具体案)

| コンセプト | (今回の)研修テーマ | 具体的な内容 | (内容群細) | 実施(運営)方法 | 講師体制・対応 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本的な**経営技術(実務)**を学ぶ | 決算書の見方 | 決算書の見方 | 決算書は何故重要か?<br>決算書の構成、項目<br>決算書の見方のポイント | ・スクール形式の講習会<br>・手を動かす内容を含め極力、双方向のやり取りを取込む(体感・体験型研修)<br>・研修会後に、自習出来る様なコンテンツを作成(製作)し、継続的な学習に繋げる<br>・当面は「決算書」研修テーマとして実施<br>→ 基本的な経営技術という観点でテーマ選定。今後については、同趣旨で他テーマ含め検討していく。<br>※当期の「運営委員会」において、次期のテーマを選定(確認)し、ローリングして行く。 | <講師体制(選定・育成)><br>①経営力向上研修会講師<br>神崎氏、足立氏の協力をいただき、今後の講師対応の検討を進める。<br>(「講師対応の仕組み」を作り、2019年度前半から機能する様進める。)<br>②1本釣りで、数名(2-3)名の候補者を選定、今後のコア人材としてご対応いただくとともに、経営系研修会推進の中核ﾒﾝﾊﾞｰになって頂く。<br>③各支部の青年部ﾒﾝﾊﾞｰを中心に、各1-2名の研修推進メンバーを選定。<br>①、②メンバーと連携しながら各地域の講師(グループ)のリーダーとして活躍していただく。 | |
| | | 決算書の読み方<br>(経営指標・観点) | 決算書のどこを見る<br>安全性<br>収益性<br>効率性 | | | |
| | | 決算書の活用<br>(具体的活用例で) | 決算情報の重要性<br>設備投資<br>採用、雇用<br>労務費見直し<br>生産性、効率性 | | | |
| 経営**経験**を学ぶ | 不況への向き合い方 | 不況時に何が起こったか | 工場生産<br>価格<br>収益 | ・運営委員をリーダーとするGr討議形式<br>※グループ討議の運営(進め方)は、十分な検討と入念な事前準備が必要 | <講師体制(選定・育成)><br>・経営経験を語るという趣旨で、運営委員のメンバーを中心に、全構協理事の方もご協力をいただき、講師(討議ﾘｰﾀﾞｰ)を構成する<br>※特別に講師は選定しない、委員になったら、講師になる仕組み | |
| | | 不況時に何をすべきか<br>(何をすべきだったか) | 投資、価格、連携 | | | |
| | | 不況への備え | 反省(実践している事) | | | |
| 最新の**経営知識**を学ぶ | 「働き方改革」環境での生産性向上のヒント | | | ・(専門知識を持つ講師の)スクール形式での座学<br>※当期の「運営委員会」において、次期に向けて、その時々の旬のテーマを選定し、ローリングして行く。 | <講師体制(選定・育成)><br>・旬のテーマ、時宜を得たテーマに合わせ<br>→ 講師が出来る方を、協会関係者内から選定(テーマにより外部講師)<br>※次期までに | |
| | | <今後のテーマ案> | 働き方改革実現へ<br>先進技術(BIM、AI、5G)<br>労務・雇用・賃金管理 | | | |

〈 2019年度 〉

# 第１回 技術委員会 議事録

**１．日　時**　２０１９年１０月１７日（木）１５：１５０～１７：００

**２．場　所**　全構協　第１会議室

**３．出席者**　神崎委員長、齋藤、稲垣両副委員長
安田、栗原、平田、上柿、益田、渡部、岩永 各委員
（事務局）辰巳専務理事、大橋常務理事、技術部 高野、中村

**４．議事次第**　資料Ｎｏ．

１）委員長挨拶

２）前回議事録の確認

・前回（1/30）議事録

３）見積条件書の作成について（見積ＷＧ）

・「見積条件書」（業界統一版）（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 別　添

・2018年度第１回見積ＷＧ（3/27開催）議事録・・・・・・・・・・・・・・ Ｎｏ．１

・2019年度第１回見積ＷＧ（6/6開催）議事録・・・・・・・・・・・・・・・・Ｎｏ．２

４）ＣＡＤ担当者の業務負担軽減策について（図面ＷＧ）

・「工程管理表」（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 別　添

・2018年度第１回図面ＷＧ（3/27開催）議事録・・・・・・・・・・・・・・・Ｎｏ．３

・2019年度第１回図面ＷＧ（5/29開催）議事録・・・・・・・・・・・・・・ Ｎｏ．４

・2019年度第２回図面ＷＧ（7/30開催）議事録・・・・・・・・・・・・・・ Ｎｏ．５

５）両成果物の周知方法について

・「見積条件書」「工程管理表」の周知について・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｎｏ．６

６）「鉄骨製作工場性能評価　工場審査の手引き」の改定について

・主な改定事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｎｏ．７

７）その他

①溶接ヒュームに含まれるマンガンの暴露実態調査について

②半自動溶接によるコラムＲ部の施工法について・・・・・・・・・・・・・・Ｎｏ．８

③次回開催について

**５．議事要旨**

１）委員長挨拶

神崎委員長より、次の挨拶があった。

「前回8/6は台風のため本日にスライド開催となったが、全員出席で感謝している。
２テーマについて各ＷＧの案ができたので、全体会議でご議論をお願いしたい。
今年度内には成果物を会員に提供できるようご協力をお願いする。」

２）見積条件書の作成について（見積ＷＧ）

齊藤ＧＬより、これまで検討したＷＧの経過及び主旨について報告があり、引き続き、上柿委員が見積り条件書（様式）の具体的な使用手順について説明した。

【主な内容】

・元請ＧＣとの交渉における見積条件を明確化するため、業界内統一の様式（エクセル版）を作成した。

・見積条件書には、「御見積り一般条件（仮称）」と「鉄骨工事見積範囲チェックリスト（工場製作分・現場施工分）」の２種類がある。

・いずれも想定される諸条件（または見積項目）を「基本シート」にあらかじめ作成しておき、この「基本シート」から選択した条件（または見積項目）が「見積もり一般条件（仮称）」や「鉄骨工事見積範囲チェックリスト」に反映される。

・いずれもエクセル操作が簡便で、かつ各社が自由に項目の追加・修正ができるように工夫した。

・「御見積り一般条件（仮称）」は、各社の見積書に付随して使用される。

以上のＷＧ案について検討した結果、次の通りとなった。

・「御見積り一般条件（仮称）」の「基本シート」に記載の諸条件について、文章表現と記載順序を再チェックする。

・全構協の「指定様式」ではなく「標準様式」にする。

３）ＣＡＤ担当者の業務負担軽減策について（図面ＷＧ）

稲垣ＧＬより、これまでＷＧで検討した案について、説明した。

【主な内容】

・工程管理上重要である図面確認の進捗状況を「見える化」することで、客先や社内管理者と情報共有できるので、結果としてＣＡＤ担当者の負担軽減になることを期待している。

・特に客先に対して、図面確認の遅れが工期全体に影響することを明確に伝える有効な手段になる。

・工作図について、チェックバックや承諾の進捗状況をチェック内容毎に記載する。

・進捗状況欄には、チェックバックや承諾が遅れた日数を記載する。

・材料発注から建方までの必要日数を明記し、チェックバックや承諾の希望日について理解を求める。

・チェック漏れがないように「主なチェック項目」も横並びで掲載する。

・全構協「推奨様式」と記載することで、ＣＡＤ担当者が客先との交渉をし易くする。

以上のＷＧ案について検討した結果、次の通りとなった。

・進捗状況（チェエクバック等の遅れ日数）は、自動計算にする。

・備考欄の記述（例；「客先チェック中」）を「ドロップダウン」方式にできるか検討する。

・ＣＡＤ担当者の立場で本様式の使い勝手を確認する必要がある。

なお、両テーマについて、今後の進め方について検討した結果、次の通りとなった。
・本日委員会で出た意見を整理して、各委員に送る。(10/末)
・各社で試験運用し、修正案など意見をまとめて事務局に提出する。(11/20まで)
・次回委員会で検討し、最終委員会（案）とする。(12/2)

4）両成果物の周知方法について
事務局より、両成果物の周知方法等について試案を説明し、次回の審議とした。
【主な内容と意見】
・成果物は、全構協ホームページに掲載し、いつでもダウンロードして活用できるようにする。
・より普及させるために各県（又は各支部）単位で「講習会」を開催する場合は、技術委員会委員が出身支部内での講師（依頼があった場合）等に対応する。
・各支部会で技術委員が説明し、県単位の講習会の実施有無は各県の判断は任せる方法もある。
・県単位での講習会開催を促すならば、経費補助（例えば５万円／県）も提案した方が良い。

5）「鉄骨製作工場性能評価　工場審査の手引き」の改定について
事務局より、資料№７に基づき、９月24日に県組合に送付した「工場審査の手引き（改訂版)」の改定概要について、報告した。

6）その他
①溶接ヒュームに含まれるマンガンの暴露実態調査について
厚生労働省から「溶接ヒュームに含まれるマンガンの影響に関するばく露実態調査」の協力依頼を受け、全構協から技術委員の２社（齋藤副委員長（秋田；興栄建設）と岩永委員（長崎；岩永工業)）が実態調査に協力した旨報告した。
②半自動溶接によるコラムＲ部の施工法について
コラムＲ部の半自動溶接施工法について、各委員に実態調査した結果を報告した。なお、本件は、これまで掘り下げた検証がなされてこなかったことから、今後、「工作基準マニュアル」などで具体的な溶接の施工手順などを記述しなければならなくなる可能性がある旨補足した。
③次回開催について
12月２日（月）14：00～全体会議を行うことになった。

以上

2019.11.21

# ホームページの認定工場リストへの情報追加について

品質管理委員会

## 1．趣旨

品質管理体制の検討テーマのうち「C4：工場認定制度の問題点の整理と自主評価制度の検討」に関して本委員会で検討した結果、以下の施策を提案する。

(1) 現状の問題点

① 現状の工場認定制度は工場の規模や生産能力を評価しないので、グレード指定だけではゼネコンが工事に応じた最適な工場を選定することは難しい。

② 現状の全構協のホームページでは認定工場の工場規模や加工能力の情報が得られない。

③ このため、日建連では独自にファブ評価システムを作って工場選定に活用しており、工場認定制度の空洞化が危惧される。

④ 工場認定制度を補完するため、全構協が構成員工場の規模や生産能力を自主的に評価する制度も考えられるが、反対の構成員が多く、実現は難しい。

(2) 提言する施策

・全構協のホームページで公開している構成員の認定工場リストに、工場規模や加工能力等の詳細情報を追加する。

(3) 期待効果

① 工場認定制度と併用することで、ゼネコンが工事に応じた最適な工場を選定することが容易になる。

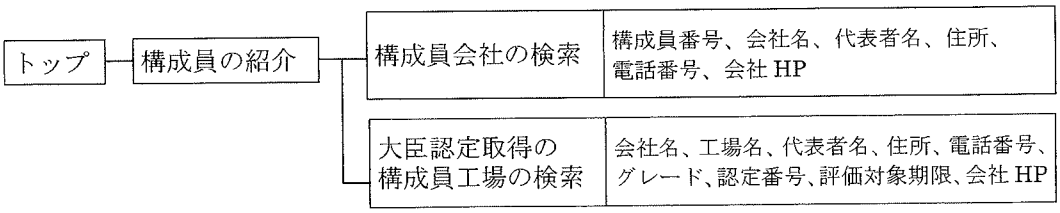
② 一部の組合の HP では実施しているが、全構協として全国の構成員の情報を公開することで、鉄骨製作業界の結束を固めることができる。

③ 工場が他地域の工場に応援を求める場合にも活用できる。

## 2．全構協および各組合の情報公開の現状

(1) 全構協のホームページ

・以下の 2 種類の検索ができるが、年間加工能力等の詳細情報はない。




(2) 各都道府県組合のホームページ

・各構成員の紹介ページで年間加工能力までの詳細情報を紹介している組合は 13 組合。

（北海道、秋田、福島、東京、福井、岐阜、三重、広島、福岡、長崎、大分、宮崎、鹿児島）

・5 組合はホームページが存在しない。

（宮城、富山、静岡、和歌山、沖縄）

3．実施案

(1) 全構協のホームページの「構成員の紹介」の書式変更（次ページ参照）

・「大臣認定取得の構成員工場の検索」の表に以下の情報を追加する。

①年間加工能力（t）

②資本金（万円）

③従業員数（人）

④敷地面積（$m^2$）

⑤建築面積（$m^2$）

⑥会社の HP へのリンク（あれば）：（現状は会社名にハイパーリンクを設定）

⑦組合 HP の組合員紹介ページへのリンク（あれば）

(2) 詳細情報の収集方法（案）

・全構協で詳細情報の統一書式をエクセルで作成し、各組合に配布する。

（1 組合 1 ファイル 1 シート、1 工場 1 行）

・各組合にて所属構成員の詳細情報を収集してエクセルに入力し、年に 2 回（全構協 HP の構成員検索データ更新時の前）、全構協に送付する。

・各構成員の詳細情報提出は任意とし、開示を希望しない工場には強制しない。

(3) システムの変更

・全構協の構成員登録システムと HP 作成システムをどのように変更すれば上記の情報を追加できるか、事務局とシステム開発会社とで具体的な方法を検討する。

(4) 実施時期

・全構協のシステム変更工程と HP のリニューアル工程および各組合の詳細情報収集工程を調整し、2020 年度下期からの実施を目指す。

以上

## 【全構協ホームページの認定工場リスト】書式（修正案）

| 地域別検索 | ○○県 | グレード別検索 | 全グレード | 50音別検索 | 50音全て |
|---|---|---|---|---|---|

| 会社名 / 工場名 | 代表者名 | 郵便番号 / 電話番号 | 所在地 | グレード | 認定番号 / 評価対象期限 | 年間加工能力（t） | 資本金（万円） / 従業員数（人） | 敷地面積（m²） / 建築面積（m²） | 会社HP | 組合HP |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ○○○○株式会社 | ○○○○ | 〒XXX-XXXX | ○○県○○市○○区○○X-XX-X | H | TFBH-XXXXXX | 18,000 | 4,800 | 43,377 | ➡ | ➡ |
| ○○工場 | | XXX-XXX-XXXX | | | 2021/3/31 | | 62 | 11,845 | | |
| ○○○○有限会社 | ○○○○ | 〒XXX-XXXX | ○○県○○郡○○町X-XX-X | R | TFBR-XXXXXX | 2,000 | 500 | 1,921 | | ➡ |
| | | XXX-XXX-XXXX | | | 2022/3/31 | | 16 | 1,551 | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |

現状の記載情報　　追加記載情報

2019年11月13日

# 「無線操作式クレーン免許対応WG」報告

＜共同陳情依頼先の回答状況（10月末現在）＞

## Ⅰ.クレーン利用者

| 団体名 | 9月末時点 | 10月末現在 | 協議時の反応（コメント・意見） |
|---|---|---|---|
| (一社) 鉄骨建設業協会 | 回答保留 | 同意 | |
| (一社) 日本建設機械工業会 | 回答保留 | 回答保留 | 日本クレーン協会の方針に従う。 |
| (一社) 日本工作機械工業会 | 同意 | 同意 | 但し、従来免許でも無線式を運転可とすることが条件だ。 |
| (一社) 日本産業機械工業会 | 不同意 | 不同意 | 危険要素が多いため、現在より安易になるのは好ましくない。 |
| (一社) 日本電機工業会 | 不同意 | 不同意 | 免許制度は協会の主たる事業ではない。安全性の面で、賛否両論あり。 |
| (一社) 日本造船工業会 | 不同意 | 不同意 | 専門家にも聞いたが、安全性の面で疑問の意見が多数あり。 |
| (一社) 日本鉄道車両工業会 | 回答保留 | 検討中 | 各社の実態調査の上、参加可否を検討する。 |
| (一社) 日本金型工業会 | 同意 | 同意 | |
| (一社) 日本溶融亜鉛鍍金協会 | 回答保留 | 同意 | |
| (一社) 全国ｺﾝｸﾘｰﾄ製品協会 | 回答保留 | 同意 | |
| 全国製缶機械工業協同組合 | 同意 | 同意 | |
| 全国厚板ｼｬﾘﾝｸﾞ工業組合 | 回答保留 | 同意 | |

※共同陳情依頼先12社中、7社が同意（3社不同意、2社検討中＜保留＞）

## Ⅱ.クレーンメーカー

| | | | |
|---|---|---|---|
| 金陵電機（株） | 同意 | 同意 | |

令和元年　　月　　日

殿

一般社団法人　全国鐵構工業協会
会長　米森　昭夫　　印

# 〔要　望　書〕

## クレーン免許区分新設についてのお願い
## （無線操作式クレーン<限定>免許）

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は私どもの協会の活動につきまして、多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、別紙に示しますように、近年、工場作業の生産性向上の観点から、機上操作式クレーンや床上操作式クレーンから、無線操作式クレーンへの転換要望が増えております。しかしながら、運転には「クレーン・デリック免許」が必要であり、免許試験時の実技や教習も機上操作式クレーンを用いたものであることから、無線操作式クレーン特有の知識や技能が習得されておらず、それに起因する労働災害も報告されております。

このような事態の改善のため、当協会では、クレーン運転の実情に合わせて適切に免許付与する観点から、無線操作式クレーンの免許区分が必要であると考えております。

今後、学科試験、実技試験・教習に、無線操作式クレーンを組み込んだ新たな免許制度ができれば、無線操作式クレーンの運転に必要な特有の知識と技能の習得が可能となり、運転技術の向上が図られることで、クレーン作業の労働災害防止や工場作業の生産性向上に大きく寄与するものと期待しており、また、無線操作式クレーンの適切な普及につながるものと考えています。

つきましては、本趣旨をご理解いただき、「無線操作式クレーン<限定>免許新設」の取組みにつきまして、主導的立場で検討をすすめていただきたく、ご理解とご協力をお願い申し上げる次第です。

敬具

共同要望者：
・○○○○
・○○○○
・○○○○

【全構協・青年部会 意見交換会】実施後アンケート 一覧表

| 支部 | 県No. | 都道府県 | 実施後アンケート<br>①意見交換会の感想 | ②(当日の内容を踏まえ)全構協との連携活動についての、意見・要望・提言 | ③(当日の内容を踏まえ)今後の青年部会活動について |
|---|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 1 | 北海道 | 全構協側から青年部の活動に関してアドバイスを直接もらえるいい機会だったのではないだろうかと思う。発表した人と全構協との意見交換の感じはあったが、そのテーマに対して他の県からも発言できるタイミングがあると、違った意見も見えてくるかもしれないと思った。総括表を作っていただいていたので、とてもわかり易くスムーズに進行していたと思う。 | 全構協の事業計画について、どのような活動をしているのかわかりやすかった。各県の親会では全構協の事業について展開されているかもしれないが、県によっては青年部まで浸透していない部分もあるかと思う。青年部は全構協がどのような取り組みをしているか理解した上で、その取組についての意見・考えを発信し、また、現在全構協が取り組んでいない新たな事業に関しても、企画委員会の議題に上がるかどうかは別として、提言していくことが必要なのではないだろうか。 | 全構協の事業を理解した上で、青年部として何ができるのか、また、連携事業についての意見を全青会としてまとめて行ければと思う。今後は全青会共通テーマについて更に検討を重ねて行く他、各県で働き方改革や人材確保、新入社員教育等についての研修事業を行い、親会との連携も図って行ければと考えます。 |
| 東北 | 2 | 青森 | 他県の意見を見ることにより、自分達と同じ悩みや意見があることを知りました。前もっての資料は非常に良かったと思いました。発言者もわかっていたので非常によかったです。 | 今回出席して全構協の活動を改めて知る事が出来ました。今後も現在の活動を継続してもらい、新たな活動を考えて意見を言っていきたいと思います。 | 他県の青年部の活動を聞いていると、結構な頻度で行われてると思いました。青森県としても、もっと活動内容を濃いものにして、いろんなことを吸収していきたいと思いました。 |
| | 3 | 岩手 | 意見交換会前に全構協推進事業(課題・テーマ)の内容説明がありましたが、内容が充実していて素晴らしいと、思いました。また意見交換会では、今回はテーマ別発言者が事前に決まっていて、時間配分等が把握しやすく、スムーズな進行でした。今後も意見交換会があるのでしたら、今回のように発言者を事前に決めておくと良いと思いました。 | 全構協推進事業の後継経営者幹部研修会、CAD担当者業務負担軽減、新入教育用マニュアルなど、各委員会での活発な活動に非常に興味が持てました。ぜひ今後も業界の役に立つ活動を継続して頂きたいです。<br>また各種資格講習、試験など可能であれば、地方開催をお願いいたします。 | 多少のばらつきはあるものの、各県青年部において活発な活動が行われていると感じました。また全青会でも、各ブロックへの参加など活発に行われていると感じました。今回の全構協・青年部意見交換会資料等を参考にしながら、本県でも、引き続き積極的な活動を進めていきたいと思います。 |
| | 4 | 宮城 | 今回の意見交換会では3役だけでなく他の役員の方々も出席して頂いたこともあり、我々の方向性や全構協の考え方など、お互いに聞けた事が良かったと思う。 | 全構協でリサーチして欲しい事などは青年部の方が会話などしやすいので、積極的に動きたいと思う。 | いい意味で親会に任せるところは任せて、青年部でしか出来ない活動を行おうと思います。その上で各ファブや組合とのネットワークが構築できればと考えます。 |
| | 5 | 秋田 | 全構協が進めている事業や活動の状況・今後の課題などを知ることができました。また、全国の青年部の活動や課題なども知ることができ貴重な時間を過ごすことができたと思います。 | 今後も青年部との意見交換ができる場を提供していただき、話し合いを重ねながらお互いが気持ちよく活動していければと思います。 | 全構協及び青年部の各都道府県の活動状況等、今回の意見交換会で学ばせていただいたことを持ち帰り、今後の活動に生かしていきたいと思います。今回もこの会に参加できて本当によかったと思っております。今後ともよろしくお願い致します。 |
| | 6 | 山形 | ・全国各地のリーダーが集まって、同じ場所で議論できることは大変素晴らしいと思う。<br>・意見、提案をした後、全構協の役員の方々メインにアドバイスが増えてしまった事は改善する余地があるのでは。 | ・①に表記した通り、この会は全青会からの意見を吸い上げ、全構協でアドバイスをする時間となるのであれば、その時間は有意義と思い続けてもよいかと思う。しかし、全青会の仲間で議論する時間が無い為、議論したうえでの話であれば、より質の高い時間になるのではないかと思った。 | ・個人的には、PR動画作成の負担が大きいように思える。制作にあたり仲間内で知識がある方がいればよいが、東北にはいないため苦戦してる。私としては、まさしく今回の意見交換会を全青会内で議論した方が、より情報共有ができ自社に持ち帰り活用出来るのではないかと思う。 |
| | 7 | 福島 | さまざまな意見を聞くことが出来て，考えることも多く，大変有意義でした。日頃，自社の仕事に没頭しているため，視野が狭くなりがちです。さまざまな地域の取り組みや試みをうかがえることは，勉強になりました。議題にも上りましたが，人材確保の成功実例をたくさん聞いて，まとめたものがあるといいと思いました。(有給休暇，ボーナス，ネットによる情報発信など) | 連携，というといい答えを持ち合わせていませんが，親会の推進する事業に対し，現場に近い青年部が質問(受験費用を下げられないか，賃金調査をしてみてはどうか，など)を伝えていき，より良い活動につながればよいかと思いました。福島県においては，親会と青年部を兼任している方が半数を超えております。 | 全国大会は準備も大変ですが，お互いの顔をみて，話し，より良い業界になり，生き残っていくことが出来れば集まって懇親を深めることには大変意義があると思います。自分の地域を離れて外の世界で働く仲間と問題を共有できることは，自分の頭の中の整理にもつながります。交流活動を続けていくことが出来ればいいなと思いました。 |
| 関東 | 9 | 栃木 | 各県の発表後に理事や支部長からだけでなく、各県会長からの質問時間があっても良いと思った。折角良い意見を発表して頂いており個人的に質問したい点が数回あった。懇親会は立食ではなく各ブロックがバラバラになるよう円卓(席指定)でも良いのでは。 | ご意見要望提出シートにありました各県からの要望を全てではなくても出来る点より企画検討をお願いします。 | ご意見要望提出シートを自県青年部全会員へ送信、報告します。他県青年部の実施事項や意見を参考にし、今後の自県青年部活動に役立てたい。 |
| | 10 | 群馬 | 今回、初めて意見交換会に参加させてもらいましたが、他県・青年部・全構協の関係なく意見を発言できる場所で、色々な意見・アドバイス等をもらえる場所として、良い場所だと思いました。 | 今回、各県の青年部の悩みの人材確保・人材育成の件は全構協でも共通の問題なのでそう言う点に、青年部でも出来ることを意見・参加し連携して行ければ、良い関係になれると思います。 | 現在、青年部＝親会に近い状況(後継者・後継者候補不足の為)になっている県も多いですが、親会の会議等の内容を青年部会員にも周知し、青年部でもで来ること・青年部だから出来ることを積極的に参加して行きたいと思いました。 |
| | 11 | 埼玉 | 普段ではなかなか同席をしてのメンバーではありませんので非常に良い意見交換会が出来たのだと思います。 | 現在非常に大きな問題になっております図面決定の遅れ、現場さんの段取り等の遅れについて各県単位の枠を超えて全構協と連携して意見交換会でも打開策が出ておりましたがこの手、三の手を連携活動として出していった方が良いと思いました。 | 上記②の事については親会と連携を取りながら何か方法を見つけていかなければならないと思います。また、業界のPR活動、人材確保・育成についても活発な活動をしていかなければならないと思っております。 |
| | 12 | 千葉 | 全国の部長を集めてやることではない気がします　正直　Hクラスはメリットがあるかもしれないが　M以下は　他県と言っても同ブロック程度(それでも実際の仕事の繋がりはあまりないし)の話で済むのでは？　最低受注単価？(地域格差もあるため一概には言えないが)みたいな取極？みたいなものがあれば　過度な叩きあい等がなくなると思われます | 共済事業で　共同購買があるが・・・塗料等・・・実際に5674をあの値段で買ってるのでしょうか？　ダイニッカでも大井でもいくら交渉しても値段は下がりません　他メーカーにするだけで　1缶あたり1500円以上安いものありますが・・・ | 今年の青年部事業として　JSCA千葉と　合同勉強会を　実施予定で　合同役員会を行っている最中です |

【全構協・青年部会 意見交換会】実施後アンケート　一覧表

| 支部 | 県No. | 都道府県 | 実施後アンケート | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | ①意見交換会の感想 | ②(当日の内容を踏まえ)全構協との連携活動についての、意見・要望・提言 | ③(当日の内容を踏まえ)今後の青年部会活動について |
| 関東 | 13 | 東京 | ・今回から導入された「発言者指定」の方式について。テーマごとに絞った進行でスムーズにはなったが内容は薄まった。同じテーマにもそれぞれの考えがあるはずで取りこぼしがあると思う。一人の青年部の意見に対し、理事数人が言い切りの返答をする場面が多く、果たして「意見交換」できたか？と疑問が残った。「青年部49名にマイク1本」に対し「全構協理事15名にマイク4本」の設定は約13倍の非対称がある。マイクは少なくとも10本を青年部側にも配置し、まず「テーマの代表者が意見を発表」してから議論を進める方式に改めてはどうか？<br>・「高カボルト不足」と「若手人材不足」などその年の全国的な共通課題と予想できるテーマに対し、全構協理事側で「自助努力で解決すべき」などの回答が決まっていれば、意見提出前に予め発表を頂きたい。会議時間と費用を有効活用できる。 | 山口県青年部代表の「不況時には過当競争にもなり得ることも考えた慎重な人材対策を」との趣旨の発言があった。このようなテーマこそ大勢の同業者で議論すべきと思ったがほとんど盛り上がらずに残念だった。<br>参加者ほぼ全員が企業経営者なので個々の企業の損得についてはすぐ解る。しかしみんなが同じ方向へ動いた場合、全体には損失に作用することもある。需要が前年度並で推移していてかつ賃金が十分に上がっていない状況で、(技能実習生などの)供給を高めてしまえば業界全体に賃金抑制の圧力が掛かる。賃金が安ければ若手人材を獲得するのはより困難になる。一方、技能者技術者の高齢化も深刻なので退職者増加とのバランスも考慮しなければならない。<br>東京オリンピック後には大規模プロジェクトは堅調かもしれないが、消費増税もあり中小物件の鉄骨需要についてはかなり悲観的だ。需要が減少しないようにするにはどうしたら良いか？減少したらどうするか？など全体を考えた議論をして欲しい。 | 全青会は少ない予算の中、よくやっていると思う。今年度の愛知大会は見事だった。バカバカしいお祭りのようなイベントと一見は映っても、よく見れば冷静なリーダー達が計画的に敢えてやっている。このようなことは全青会でなければ不可能だ。協賛金が多く集まる背景には関連の企業にも鉄骨業界を盛り上げていきたいニーズが少なからずあるからだろう。<br>若い人達は仕事にお金だけでなく楽しさも求めている。彼らを引きつけるには賑やかしのような行事も必要だ。若年層の活力が無い業界は必ず衰退すると思う。<br>東京の青年部としては全青会の活動に積極的に協力していきたい。 |
| | 14 | 神奈川 | 離職率を下がるには、手当てを上げる等の方法が良いなどの意見は良かったと思います。 | 親会と青年部は、基本的には独立していて良いと思うので、年一で意見交換を行う程度で良いと思います。 | 青年部に活気がなくなれば、組合が衰退するだけなので、元気ある青年部活動が必要だと考えます。 |
| | 15 | 新潟 | 今回は意見発言者の役割が各テーマ別で決まっており、スムーズに進行できたと思います、次回は何かテーマを決めてじっくり議論したいです。 | ・人材育成・教育について、全構協と日本溶接構造専門学校と協力して、新入社員研修や各社社員派遣型教育訓練を1週間ぐらい集中訓練を実行したらどうでしょうか。 | ・今後の業界発展について、民間企業及び大学研究機関と連携して鉄骨の更なる可能性をテーマに、新製品の研究及び商品化・自然災害に対しての耐震補強工法や豪雨防護柵などその他、10年100年先の更なる鉄骨の可能性を考えていく機関が必要だと思います。全構協から進んで協力してもらい構築していくのはどうでしょうかご検討ください。<br>・今後は災害支援事業を重要視していくべきだと思います |
| | 19 | 山梨 | 青年部を運営するにおいて他県の会長の話、考え方を聞けたのは貴重な機会となりました。発言内容を事前に指定したのもスムーズで良かったと思われます。全構協が青年部に対してサポート・支援していく考え方も判断出来ましたので当県としては来年度以降も意見交換会を全構協に対して意見・要望が出来る機会と捉えて会員に説明を行ないたいと考えています。 | 討論になりましたこの業界に人材を集める為に雇用の待遇を調査したいと思います。当県青年部会員企業の賃金、労働時間(休日)、福利厚生などを調査統計して県中央会を利用して他業種との比較を行ない少しでも雇用につながるよう努力、勉強したいと考えています。全構協でも地域格差、アンケートの信憑性などの問題があり対応が難しいとの考えですが地域ごとにデータを纏めるなど何か対応が出来るのではないかと思いますが如何でしょうか。 | 意見交換会の内容、他県の事前提出シートの内容を確認して今後も当県で事業等に役立てるものがありますので参考にして運営していきたいと考えています。 |
| | 20 | 長野 | 時間の都合上、発言者が事前に通知されていた為、スムーズだったと思うが、予めもしくは後日、県単位・ブロック単位で喧々諤々グループで討論する事も必要かと思う。 | この意見・要望をさらにブラッシュアップさせ当県の事業にも生かして行きたい。 | 今後の活動(不況対策)に対し何かしらのヒントを得る事がこの意見交換会の一つの目的であったので、良い仲間づくりを一番の方針として考えて行きたい。 |
| 北陸 | 16 | 富山 | 全構協や各県会長の色々な意見(考え・思い)が聞けたのは、とても良かったと思います。貴重な経験をさせていただき、有難うございました。今後も継続してほしいと思います。 | 全構協・全青会、お互いに出来ること(役割分担)を理解していることが伝わりました。 | 今一度自分たちに出来ることを考えて、より有意義な活動ができるようにしていきたいです。 |
| | 17 | 石川 | 人材確保や働き方改革に対し、半日有給やフレックスタイムの導入、社内教育の方法など参考になる意見を聴けたのが良かった。また、意見交換会前の各委員会による取り組んでいる事業の説明も全構協の方向性が見え、良かったと思う。 | 業界の発展・周知や教育活動等、全構協と全青会は同じ方向性をもって活動を行っていると思うので、活動が被らない様に連携を取っていけばよいと思う。青年部会員の意見を吸い上げ、全構協として他団体へ要望・意見を発信でき、さらに構成員内での調整を行う事が出来る組織作りをして欲しい | 県単位では、今後の青年部会員減少を防ぎ、若返りを図るための話し合いを行いたい。その一助となる魅力的な活動・講習会を企画したいと思う。ブロック単位では、さらなる密な交流を行える場を設け、協力していきたいと思う。 |
| | 18 | 福井 | 今回で2回目の出席となるが、47都道府県の会長が一同に会して全構協幹部と対話する形は非常に良いと感じる。全構協幹部からいろいろな経緯を聞くいい機会だし、全青会からは生の声を全構協幹部に直接話せるというメリットも大きい。是非好例化していってもらいたい。 | 全青会は全構協の事業に対して、積極的に参加(共同作業)していって頂きたい。それがひいては全構協の事業を把握していく事にもなるだろうし、全青会の思いも全構協に伝わっていくのではないだろうかと思う。 | 先人(先輩)の知恵をお借りしつつ、若者らしい柔軟な発想で今後も活動していって頂きたい。 |
| | 21 | 岐阜 | 東京まで出て来て発言できない人がいるのは残念。発言時間と回答者を事前に決めていただくなど、なるべく多くの方が発言できるように善処をお願いします。 | 全青会は、未来の全構協を担う人材を育成している部分が多分にあると思います。全構協と全青会が親子関係であるならば、是非全青会に予算を付けてほしいです。 | 情報交換の場、不況対策にもなる仲間作りの場としての力を発揮するのは青年部会が最適だと思います。全青会には、全国単位で情報交換の場、仲間作りの場を創出する役割を期待しています。 |
| | 22 | 静岡 | 全構協、各県青年部会の事業の案、報告が聞けて良かったと思う。全構協の考える今後の事業には非常に興味深く今後情報発信していただき、参加、参考にさせていただきたいと思った。各県青年部が行っている事業も静岡県でやってみたいと思う事業、参考にしたい事業があり、非常に勉強になった。ただし、お互いの事業報告を言い合っただけで、相手団体の事業への感想や意見が無かったのは残念だった。お互いが一方的に自分の話をしたという印象を受けた。 | 基本的に全構協の事業に対しては、非常に興味を持つ内容が多く連携は喜んでしていきたいと思います。実際、若手のUT試験などの補助や教育を考えていただいているのは非常にありがたいと思いました。 | 全青会では、各県や、ブロックの事業をSNS上にアップしており参考になっています。また、所属していることで、他県との情報交換や、事業等の考え、進め方等を助言していただく機会もあり横の繋がりの大切さを感じております。他県との交流することで会員のスキルアップができることは非常に価値があり全青会に所属する利点にもなってきます。今後もこのような利点を生かした団体であるように価値ある事業を模索していきたいと思います。 |

【全構協・青年部会 意見交換会】実施後アンケート 一覧表

| 支部 | 県No. | 都道府県 | 実施後アンケート ①意見交換会の感想 | ②(当日の内容を踏まえ)全構協との連携活動についての、意見・要望・提言 | ③(当日の内容を踏まえ)今後の青年部会活動について |
|---|---|---|---|---|---|
| 中部 | 23 | 愛知 | ・各県青年部も同じ悩みを持っていることが分かりました。環境や地域性などを考慮すると解決策が見出せないかも知れませんが、このような意見交換会があると様々な観点から意見の出せる有意義な会だと思います。<br>・全体的に青年部から全構協への意見については各県、各社による努力が必要な部分が多く。要望する前に各地域による話し合いが不十分ではないかと思いました。 | 全構協と連携して活動をすることで青年部の底上げになると思うので賛成です。 | ・青年部だけでなく各社の社員向けに工場見学をしたいと思いました。<br>・他ブロック、他県への事業へ積極的に参加して行きたいと思いました。<br>・会員の増員に取り組んでいます。 |
| | 24 | 三重 | 全構協で現在取組んでいる事業や各委員会からの説明を聞けて非常に良かったです。特に教育・人材育成委員会と技術委員会の取組については、興味と期待が湧くものでした。時間が限られているため、決められた発表者が事前アンケートの内容の一部を発表する時間ぐらいしかなかったので、分科会のような形式を取れば限られた時間の中でもより多くの意見がでるのではないかと思います。 | 今回具体的な連携活動についての話まではいかなかったですが、業界発展の為には連携活動は重要だと思います。まずは県内で親会との連携を取りながら活動していきたいと思います。 | 今回の意見交換会の内容を参考にしながら、県内の青年部会活動を活性化させる事が大事だと思っています。 |
| 近畿 | 25 | 滋賀 | 今回で3回目の開催でそのうち2回参加させてもらいましたが、今回は発表者も事前氏名されてましたが何を基準に選ばれたのか？ 質問内容わ精査の上で決めたのか、当たり障りのない質問を選ばれたのかは分かりませんが、他の件の内容にはもッと良い質問があったと思います。時間の都合もわかりますが、質問回答を各ブロックでまとめてから提出して全ブロックが発表出来る方が良いとおもいました。 | 青年部の意見を聞き入れ、理解しようとしてる感はすごく感じました。が発言に対して「そんなことは自分の県でやってくれ！」とか言わずに全構協でも検討しますぐらいの返事にしてもらわないと言いたい事が言いにくい場になってしまうと思います。できる事、できない事あるかもわかりませんが次回は検討願います。 | 今年は全国大会の準備も絡んでるからかもしれませんが県内も近畿BKの仲間同士が非常に仲良くしており交流、仕事のやり取りなどもあり良い関係性を築けているので今後も維持していきたい。 |
| | 26 | 京都 | 各県の取組みに関して課題と活動・取組み内容が聞けてとても参考になりました。 | 意見書に記入した内容をしっかりと取組みしていただいていたのでよかったです。(人材育成に関して) | 青年部の今後の目的と在り方を明確にする必要があると感じました。また後継者以外の若手幹部社員に対しての取組みを考えていこうと思います。 |
| | 27 | 大阪 | | | |
| | 28 | 兵庫 | 個人的には、初めての参加で良い経験が出来たと思います。しかし事前に頂いた各都道府県からの意見・提案について興味あることもあり、その方が発言権がなければその意見・提案については発表・議論等がないままでしたので、残念に思いました。事前配布資料については各自内容を確認していることを前提に、もう少し踏み込んだ意見交換ができるようになればと思いました。指名された方(自分も含めてですが)はなぜ選ばれたのでしょうか？ランダムですか。ほかに良い意見をお持ちの方がいたとすれば、残念でした。 | ①に関連していますが、意見交換会に各ブロック長が出席されていないのは組織上、不自然に感じてます。交通費支給等の事もありますし、各都道府県の意見を集約した各ブロック会長が代表し出席することで意見交換の時間がシンプルに確保できると思います。ブロック会長様には負担掛けますが… | 全構協の考え方や指針も理解できましたし、今後の県や支部単位での活動につなげていけたらと考えています。 |
| | 29 | 奈良 | 全国各地からの集めっての意見交換会。 とても貴重で大変勉強になりました。 | 当日の意見交換会でも、あまり気を使わずに言いたい事が言える雰囲気と感じました。今後もこのような雰囲気であれば良いと思いました。 | とにかく、将来明るく、楽しんで活動していきたいです。 |
| | 30 | 和歌山 | 私はこの意見交換会については、青年部会会長が全構協と会話できるすばらしい機会だと思っています。各県が提出するアンケートの中には時代の流れにあった素晴らしい提案もあると思いますが、せっかくの提案が発言権のないまま意見交換会の場で発表できない県があることは非常に惜しいと思います。是非とも今後のあり方として、各ブロックで提案内容を絞った上での意見交換会であれば、より意義のある形になると考えます。 | 当日、賃金の統計について提案しましたが、その場で否定され、挙句の果てには「和歌山でやりなさい」と突き放すような発言がありました。私は県代表として、全構協の会員として発言しています。意見交換会はその場で否定する場では無いと思いますし、意見を受けとめて頂けないのであれば、出席する意味もありません。是非、意見交換会のあり方を見直して頂きたいと思います。 | 県として、全構協に加入する意義を青年部会でも会話する場を設け、人材不足についてのテーマや業界としてのあり方を話し合い、県全体で発言、提案できるよう努めます。 |
| 中国 | 31 | 鳥取 | 有意義な意見交換会であったと思います。全国単位にて、同業者の考え方、悩みなどの情報を共有できたことは、よいことだと思いました。これからの、活動に活かせればと思いました。 | このような意見交換会を定期的に開催することを継続してほしい。直接、顔をみて意見を出し合うことは、大切なことだと感じたからです。 | 親会と青年部会が意志の疎通をとりながら有意義な会にしてほしいです。 |
| | 32 | 島根 | 各県の意見を聞いた感想として、地域差は多様あるが同じような悩みや問題を抱えているように感じることができた。人材確保や業界PRのの仕方などいろいろなやり方や方法があることを知ることができた。今現在のこの業界が元気な間に横のつながりを強固なものにし苦しくなった時にいかに協力して踏ん張ることができるかが大事だと改めて感じることができた。先輩方の過去経験されてきたことも伺う ことができ、とても有意義な時間だったと思う。 | 限られた予算で計画している資格取得に対する講習会などに積極的に参加していく必要があると思う。全構協が配布してる資料などの情報を各県構成員の隅々まで提供することが大事だと思う。意見変換会を行い全構協が人材育成、人材確保の面でも活動していることがよくわかり、青年部もより一層の協力協力をしていかないといけないと感じた。 | 年々高齢化も進んでいき、親会と青年部を兼務している会社が増えているなか、議題でも上がったが、後継者でなくても青年部に参加できやすい環境を整える必要があると思う。要望でもあがっていたが、3年に1回でもいいので、アマダの研修会の開催を全構協にお願いしたい。今になって考えると あの研修会は今までのどの研修会よりも充実感があり、横のつながりができるいい機会だったと思う。 |
| | 33 | 岡山 | 初めて参加させていただいて大変勉強になりました。 意見交換では、様々な悩みがあるものの、どこも同じことで悩んでいるので、この業界の共通の問題と強く感じました。特に不況時の対策の話では、興味深かったです。 | | 他県の方達の意見を聞き、他県は大変有意義に、活発に活動されていると感じました。 岡山県にも持ち帰りもっと活発に活動していきたいです。 |

【全構協・青年部会 意見交換会】実施後アンケート 一覧表

| 支部 | 県No. | 都道府県 | 実施後アンケート | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | ①意見交換会の感想 | ②(当日の内容を踏まえ)全構協との連携活動についての、意見・要望・提言 | ③(当日の内容を踏まえ)今後の青年部会活動について |
| | 34 | 広島 | 各都道府県とも人材の確保にとても苦労されていると感じた。また、新たな人材確保も大切だが、人材の流失(離職)防止への対応も重要なことを再認識した。今後、いかにして業界内の限られた人材を確保・育成するかが、我々の未来を拓くカギだと痛感した。 | 若手経営者・若手管理職向けの能力向上のための研修会の開催。 | 引き続き、鉄骨製作の日常業務とバランスを取りながら、親会と協力して鉄骨製作部会等に積極的に参加・活動していく。 |
| | 35 | 山口 | 全構協の取り組みについてよく理解出来た。また、沢山のｱﾄﾞﾊﾞｲｽもいただき、青年部でも会社の代表になっておられる方も沢山いたが、大変勉強になったと思う。全構協の役員をされておられる方は流石だなと感じた。 | 連携して活動することは難しいと思っていたが、PR動画の作成等では連携してやっている所もあると聞き、嬉しく感じた。今後も全青会と全構協で協力出来る事があれば協力して、業界の発展につなげていければと思う。 | 昨年参加して感じたことと同じだが、全構協では、その時々で必要な事業を実施しており、その事業に参加し、糧としていけば、今後出てくる課題の対策になるので、全構協で実施される事業には出来るだけ参加するよう呼びかけていきたい。 |
| 四国 | 36 | 徳島 | 場所は違っても、悩みや考えている事は同じだと再確認できました。自分自身も新規雇用の方にも力を入れながら、離職者を防ぐ環境作りは続けていこうと思います。 | 全構協との交流という意味でも、こういった意見交換会は続けていけたらいいと思います。 | 若手育成や、技術の勉強も必要ですが、経営者や幹部の立場でのスキルアップできるような、勉強会をできたらと思います。 |
| | 37 | 香川 | 全構協の活動内容、考え等が分かり勉強になります。また、各県部長の考え、思いも分かりとても良い会です。全てが参考、勉強になります。 | 毎年の活動補助金も頂いていまし、現状でいいと思います。青年部の活動内容、要望等も毎年変化しますので、意見交換会は毎年実施して頂きたいです。<br>よろしくお願いいたします。 | 各県の活動内容が分かったので、香川県も参考にして、いろいろ活動をしていきたい。香川県の活動で足りない部分は①部会員全員に実りのある活動、②部会員の家族に実りのある活動であることが分かりました。<br>来年度は①、②を主に活動内容を考えたいです。 |
| | 38 | 愛媛 | ブロックでの意見・考え方はいろいろと聞けるのですが、各都道府県の考え方、動きがわかるのでとても勉強になります。 | 全構協・青年部が一丸となり業界のPR、人材確保、人材育成活動に尽きると思う。 | 講習会、勉強会はもちろんの事、横の繋がりを大事にして、密に情報交換をしたいと思う。 |
| | 39 | 高知 | 高知県の青年部内ではあまり議題に上がらない貴重な意見も聞けていい経験になりました。 | 業界のイメージをよくするようなPR活動等を引き続きお願い致します。 | 引き続き他県との交流、工場見学、勉強会などを実施していきたいと思います。 |
| 九州 | 40 | 福岡 | とても良い内容だったと思います。特に今年は！出来れば、毎年参加したいです。 | 全構協との連携により、業界全体を世の中にアピールし盛り上げて行くことが大切だと思います。 | 我々福岡県では、当日発表した内容で事業をしっかり進めます。 |
| | 41 | 佐賀 | 全国の皆さんや全構協の理事の方々の意見を拝聴できて、勉強になりました。 | 全構協のご尽力がなければ、青年部の活動が困難なことが多々ありますので、今後とも宜しく御願い致します。 | 青年部の活動を継続させるためにも会員の拡充が急務ですので、皆さんのご理解を得られたうえで、会員の確保に努めたいと考えております。 |
| | 42 | 長崎 | 前回に比べると、段取りよく進めた感じがしましたし、意見も出やすくなったのではないかと感じました。できる限り毎年続けていただけたら良いと思います。 | 意見交換で上がった要望や提言を次に進め、実際に実行可能な事を具現化出来る様な進め方が出来ればもっとやりがいがあるのかな、とも思いました。 | 他県の意見を参考に、今後の事業に役立てたいと思います。 |
| | 43 | 熊本 | 他県青年部会の活動状況、今後の人材確保と人材育成・教育について様々な意見・考え方・思いを聞くことができ大変参考になった。 | | 今回の意見交換会に参加して皆様から聞かせてもらったことを部会員に伝え、情報・内容を共有し、当部会の中でも意見交換をしながら今後につなげていきたい。 |
| | 44 | 大分 | 1年に1回の定期的な意見交換会の開催はとても有意義だと思います。 今後も継続して開催してもらいたいです。 | 少なからずの全構協と全青会の間で事業方針等に温度差を感じますが、この意見交換会を通じてお互いに連携活動の在り方を協議できればよいと思います。 | 時間制限がある中での発言者の指名は理解できますが、折角47都道府県の青年部の会長が集まりますので、事前に発言したい人を募集してはどうでしょうか？ もちろん質問内容等は考慮してもらいますし、地域の振り分けもしてもらっても結構です。 |
| | 45 | 宮崎 | 各県のいろいろな事情がわかりよかったです。もう少し時間があれば細かい話を聞きたかったです | 全構協の取り組みの内容がわかり活用できればと思ってます。人材不足に対してや 経営者、後継者の育成などの講習会を行ってほしいです。宮崎県の鉄工専門校が認知度不足などで定員割れをしています全構協などでアピールすることは出来ませんか。 | 九州ブロックではいろいろな活動をしています。先日も全青会との合同見学会などをおこないました。多くの参加があり良い交流ができました。全青会がどのような活動を行っているのかわかりました。ブロック長からは話は聞いてますが、直接会って話を聞く機会があってよかったです。 |
| | 46 | 鹿児島 | 事前にアンケートで意見を集められていたのでスムーズでした。全構協の方々からも現在の取り組み等をまんべんなく聞かせていただいて良かったです。当日は我々も記入した内容を読み上げるだけでなく、お互いに少し砕けた感じでもう一歩踏み込んだ話ができても良かったのかなと思いました。 | 取り組んでいる内容をもっと把握して、事業や助成金などうまく活用していきたいです。 | やはり連携だと思います。今は横のつながりも良く青年部活動、交流も盛んだと思います。これを継続できるように親会との関係性、隣県・ブロックとの関係性を親密にしていきたいです。 |
| | 47 | 沖縄 | 率直な意見交換が出来、とてもよい会だったと思います。沖縄県は島国なので他社のやりかたなどはあまり情報が入ってこないが、今回の発表の場でよい情報や方法が聞けてよかったです。 | 全構協との連携は取れつつあるので、先人の知恵ももらい、また新しいことにもチャレンジしていければもっと良い活動が出来るのではないかとおもいました。 | とても良い機会と思うので、年に一度でよいので、全国青年部会長と全構協との意見交換会は引き続き開催していただきたいと思います。 |

関係者限り

# 質問事項

## 0　「特定技能」への新規分野の追加希望について

（1）分野追加の希望有無

*※回答用エクセルのプルダウンを用いて、下記のいずれかを選択ください。*

A. 希望あり（最速での追加を希望）
B. 希望あり（次々回以降の見直しで追加を希望）
C. 現時点で希望なし、または別の方法を希望（※「8　備考」の欄に詳細を記載下さい）

## 1　追加を希望する分野の特定について

（1）分野の追加を希望する業界団体名を記載ください。

（2）日本標準産業分類上、どこに該当するのか。

*※分類の番号を網羅的に記載すること。製造３分野は日本標準産業分類で分野を定義しているが、それ以外の方法で分野を定義したい場合は個別に相談されたい。*

## 2　対象とすることを希望する職種の特定について

（1）外国人に従事させることを希望する職種を記載ください。

*※製造３分野では、技能実習２号移行対象職種の分類をベースに規定。それ以外の方法で職種を規定した場合は個別に相談されたい。*

## 3　追加することを希望する分野の労働力需給の状況について

（1）追加を希望する分野の業界における労働力需給の現状・見通しについて記載ください

*※定性的な回答でも可。*

## 4　国内人材の確保、生産性向上、賃金上昇に向けた業界と政府支援の状況について

（1）国内人材（女性、高齢者等）の確保のため取組について記載ください

*※後日、分野別運用方針２（２）にある、女性及び高齢者の５年前からの定量的な伸びの試算が必要となります。*

（2）生産性向上の取組について記載ください

*※主要な取組を複数記載下さい。*

(3)賃上げのための取組について記載ください

*※主要な取組を複数記載下さい。*

## 5　受入見込み数について

(1)5年間の特定技能外国人材の受入見込み数について記載ください

*※今回の調査では詳細な積算は不要。積算方法等は今後相談の上で詰めていきますので、今回はありうる受入見込み人数についておおよその値を記載下さい。*

*※なお、製造3分野では、それぞれ、制度開始初年度に分野内で修了する技能実習2号生の数を算出。そのうち一定数が特定技能1号に移行すると仮定して試算。*

## 6　外国人の受け入れに関して、業界全体のコンセンサスの見通しについて

(1)外国人の受け入れに関して、受け入れを希望する業界全体のコンセンサスを得る見込、その根拠を記載ください。

## 7　今回新たに分野の追加を希望する理由

(1) 昨年末の14分野の受け入れに加わらず、今回分野追加を希望する理由を記載ください。

*※「0　分野の追加希望について」で「A.希望あり(最速での追加を希望)」または「B.希望あり(次々回以降の見直しで追加を希望)」を選択の場合のみ*

*※国会や部会等で問われても答えられる回答を記載すること。*

## 8　備考

(1)その他、留意点やご希望があれば記載ください。

---

【参考1】
日本標準産業分類　http://www.soumu.go.jp/main_content/000290724.pdf

【参考2】
技能実習移行対象職種　https://www.otit.go.jp/files/user/191108-07.pdf

# その他の事項

# 構成員登録･取消社数累計表

| 登録･取消承認日 | 全構協受付締切日 | 登録社数 | 取消社数 | 合計社数 |
|---|---|---|---|---|
| 平成31年3月31日現在<br>(平成30年度増減数) | | 34 | 27 | 2,208 |
| | | ( )内数字は3月31日に繰入 | | |
| 令和元年5月21日<br>第1回理事会 | 3月31日 | ( 0) | ( 8) | 2,208 |
| 令和元年6月7日<br>第2回理事会 | 5月31日 | 6 | 2 | 2,212 |
| 令和元年6月7日<br>第3回理事会 | — | — | — | — |
| 令和元年7月11日<br>第4回理事会 | 7月5日 | 5 | 5 | 2,212 |
| 令和元年9月19日<br>第5回理事会 | 9月10日 | 4 | 3 | 2,213 |
| 令和元年11月21日<br>第6回理事会 | 11月13日 | 4 | 2 | 2,215 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 累　計 | | 19 | 12 | 2,215 |

≪グレード別内訳≫

S：5　H：258　M：833　R：603　J：51　未：465　合計：2,215

# 登録構成員増減及び取消理由別社数一覧表

令和元年11月13日現在

| 区分 | 登録・取消 承認 | 増 登録社数 | 減 取消社数 倒産 | 転・廃業 | 縮小 | 工場閉鎖 | 休業 | その他 | 合計 | 増減差 | 増減後 構成員数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成11年度合計 | | 46 | 63 | 76 | 32 | 18 | 4 | 86 | 279 | −233 | 3,726 |
| 平成12年度合計 | | 22 | 48 | 52 | 31 | 11 | 5 | 83 | 230 | −208 | 3,518 |
| 平成13年度合計 | | 22 | 48 | 59 | 37 | 10 | 8 | 117 | 279 | −257 | 3,261 |
| 平成14年度合計 | | 40 | 67 | 37 | 45 | 21 | 4 | 110 | 284 | −244 | 3,017 |
| 平成15年度合計 | | 33 | 38 | 28 | 38 | 4 | 9 | 84 | 201 | −168 | 2,849 |
| 平成16年度合計 | | 65 | 13 | 22 | 18 | 2 | 1 | 45 | 101 | −36 | 2,813 |
| 平成17年度合計 | | 35 | 15 | 16 | 14 | 2 | 3 | 28 | 78 | −43 | 2,770 |
| 平成18年度合計 | | 49 | 8 | 15 | 19 | 6 | 3 | 29 | 80 | −31 | 2,739 |
| 平成19年度合計 | | 51 | 13 | 19 | 20 | 6 | 1 | 20 | 79 | −28 | 2,711 |
| 平成20年度合計 | | 49 | 17 | 17 | 29 | 0 | 4 | 41 | 108 | −59 | 2,652 |
| 平成21年度合計 | | 37 | 11 | 47 | 34 | 3 | 6 | 50 | 151 | −114 | 2,538 |
| 平成22年度合計 | | 23 | 31 | 39 | 33 | 4 | 7 | 52 | 166 | −143 | 2,395 |
| 平成23年度合計 | | 14 | 13 | 45 | 20 | 3 | 3 | 65 | 149 | −135 | 2,260 |
| 平成24年度合計 | | 20 | 9 | 15 | 19 | 2 | 0 | 35 | 80 | −60 | 2,200 |
| 平成25年度合計 | | 13 | 5 | 5 | 13 | 2 | 2 | 15 | 42 | −29 | 2,171 |
| 平成26年度合計 | | 26 | 2 | 6 | 10 | 0 | 0 | 21 | 39 | −13 | 2,158 |
| 平成27年度合計 | | 36 | 0 | 5 | 9 | 0 | 0 | 11 | 25 | 11 | 2,169 |
| 平成28年度合計 | | 36 | 1 | 6 | 9 | 1 | 0 | 16 | 33 | 3 | 2,172 |
| 平成29年度合計 | | 56 | 0 | 9 | 7 | 0 | 0 | 11 | 27 | 29 | 2,201 |
| 平成30年度合計 | | 34 | 2 | 5 | 6 | 0 | 1 | 13 | 27 | 7 | 2,208 |
| 令和元年度 | 第2回 (5月31日) | 6 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 4 | 2,212 |
| | 第3回 (−) | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| | 第4回 (7月5日) | 5 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 2 | 5 | 0 | 2,212 |
| | 第5回 (9月10日) | 4 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 3 | 1 | 2,213 |
| | 第6回 (11月13日) | 4 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2,215 |
| | 第7回 (月 日) | | | | | | | | | | |
| | 第8回 (月 日) | | | | | | | | | | |
| | 第9回 (月 日) | | | | | | | | | | |
| | 年度末処理 | | | | | | | | | | |
| | 元年度計 | 19 | 0 | 3 | 4 | 0 | 0 | 5 | 12 | 7 | 2,215 |
| 累計 | | 998 | 499 | 654 | 519 | 124 | 79 | 1,129 | 3,004 | −2,006 | 2,215 |

1. 転・廃業内訳

| 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 転業 | 3社 | 転業 | 0社 | 転業 | 0社 | 転業 | 1社 | 転業 | 0社 |
| 廃業 | 2社 | 廃業 | 6社 | 廃業 | 9社 | 廃業 | 4社 | 廃業 | 3社 |

2. グレード別取消内訳

| | S | H | M | R | J | 未 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成27年度 | 1 | 1 | 3 | 6 | 0 | 14 | 25 |
| 平成28年度 | 0 | 2 | 1 | 8 | 0 | 22 | 33 |
| 平成29年度 | 0 | 1 | 4 | 4 | 1 | 17 | 27 |
| 平成30年度 | 0 | 1 | 2 | 11 | 0 | 13 | 27 |
| 令和元年度 | 0 | 0 | 1 | 8 | 0 | 3 | 12 |

# 構成員登録社数・増減一覧表

（元. 9. 11～元. 11. 13）

| 支部名 | 都道府県名 | 前回 | 増 | 減 | 差 | 今回 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 北海道 | 73 | | | 0 | 73 |
| 東北 | 青森 | 37 | | | 0 | 37 |
| | 岩手 | 30 | | | 0 | 30 |
| | 宮城 | 40 | | | 0 | 40 |
| | 秋田 | 24 | | | 0 | 24 |
| | 山形 | 26 | | | 0 | 26 |
| | 福島 | 61 | | | 0 | 61 |
| 関東 | 茨城 | 60 | | | 0 | 60 |
| | 栃木 | 52 | | | 0 | 52 |
| | 群馬 | 65 | | | 0 | 65 |
| | 埼玉 | 53 | | | 0 | 53 |
| | 千葉 | 55 | | | 0 | 55 |
| | 東京 | 49 | | | 0 | 49 |
| | 神奈川 | 41 | | | 0 | 41 |
| | 新潟 | 91 | | | 0 | 91 |
| | 山梨 | 31 | | | 0 | 31 |
| | 長野 | 66 | | | 0 | 66 |
| 北陸 | 富山 | 39 | | | 0 | 39 |
| | 石川 | 32 | | | 0 | 32 |
| | 福井 | 40 | | | 0 | 40 |
| 中部 | 岐阜 | 71 | 1 | | 1 | 72 |
| | 静岡 | 96 | | | 0 | 96 |
| | 愛知 | 140 | | | 0 | 140 |
| | 三重 | 62 | | | 0 | 62 |

| 支部名 | 都道府県名 | 前回 | 増 | 減 | 差 | 今回 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 近畿 | 滋賀 | 32 | | | 0 | 32 |
| | 京都 | 48 | 1 | | 1 | 49 |
| | 大阪 | 118 | | | 0 | 118 |
| | 兵庫 | 74 | | | 0 | 74 |
| | 奈良 | 39 | | | 0 | 39 |
| | 和歌山 | 38 | | | 0 | 38 |
| 中国 | 鳥取 | 14 | | | 0 | 14 |
| | 島根 | 23 | | | 0 | 23 |
| | 岡山 | 35 | | | 0 | 35 |
| | 広島 | 75 | | | 0 | 75 |
| | 山口 | 41 | 1 | | 1 | 42 |
| 四国 | 徳島 | 25 | | | 0 | 25 |
| | 香川 | 46 | | 1 | −1 | 45 |
| | 愛媛 | 40 | | | 0 | 40 |
| | 高知 | 23 | | | 0 | 23 |
| 九州 | 福岡 | 54 | | | 0 | 54 |
| | 佐賀 | 24 | | | 0 | 24 |
| | 長崎 | 19 | | | 0 | 19 |
| | 熊本 | 24 | | 1 | −1 | 23 |
| | 大分 | 20 | | | 0 | 20 |
| | 宮崎 | 23 | 1 | | 1 | 24 |
| | 鹿児島 | 31 | | | 0 | 31 |
| | 沖縄 | 13 | | | 0 | 13 |
| 合計 | | 2,213 | 4 | 2 | 2 | 2,215 |

# 構成員登録申請企業一覧表

令和元年11月13日現在
令和元年11月21日決定

（　　4社）

| | 都道府県名 | 受付年月日 | 構成員登録企業名 | 代表者名 | 〒 | 所在地 | 年間加工能力 | 従業員数 | グレード | 登録番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 岐阜県 | R1.11.5 | 有限会社大福工業 | 傍島　浩司 | 503-2103 | 岐阜県不破郡垂井町梅谷587-2 | 1,060 t | 7 人 | 未 | 21-222 |
| 2 | 京都府 | R1.10.10 | 京都実業 | 中川　武 | 619-0201 | 京都府木津川市山城町綺田柏谷51 | 200 t | 1 人 | 未 | 26-157 |
| 3 | 山口県 | R1.10.18 | 有限会社中元機工 | 中元　勝範 | 742-0301 | 山口県岩国市周東町祖生7691 | 5,480 t | 23 人 | M | 35-157 |
| 4 | 宮崎県 | R1.11.5 | 株式会社浜広工業 | 浜広　孝蔵 | 885-0002 | 宮崎県都城市太郎坊町1958 | 280 t | 13 人 | 未 | 45-074 |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |
| | | | | | | | t | 人 | | |

# 構成員登録取消企業一覧表

令和元年11月13日現在
令和元年11月21日決定

（　　2 社）

| | 都道府県名 | 加入年月日 | 構成員登録No. | 受付年月日 | 構成員登録取消企業名 | 代表者名 | 取消理由 | グレード | 取消承認年月日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 香川県 | H3.3.28 | 37-054 | R1.10.23 | 安藤工業株式会社 | 安藤　進 | 廃業 | 未 | R1.11.21 |
| 2 | 熊本県 | H29.6.9 | 43-069 | R1.10.10 | 後藤工業有限会社 | 後藤　剛 | 事業規模縮小 | R | 〃 |

# 建築着工面積と鉄骨推定所要量推移

（国土交通省建築着工統計速報による）

2019年11月1日作成

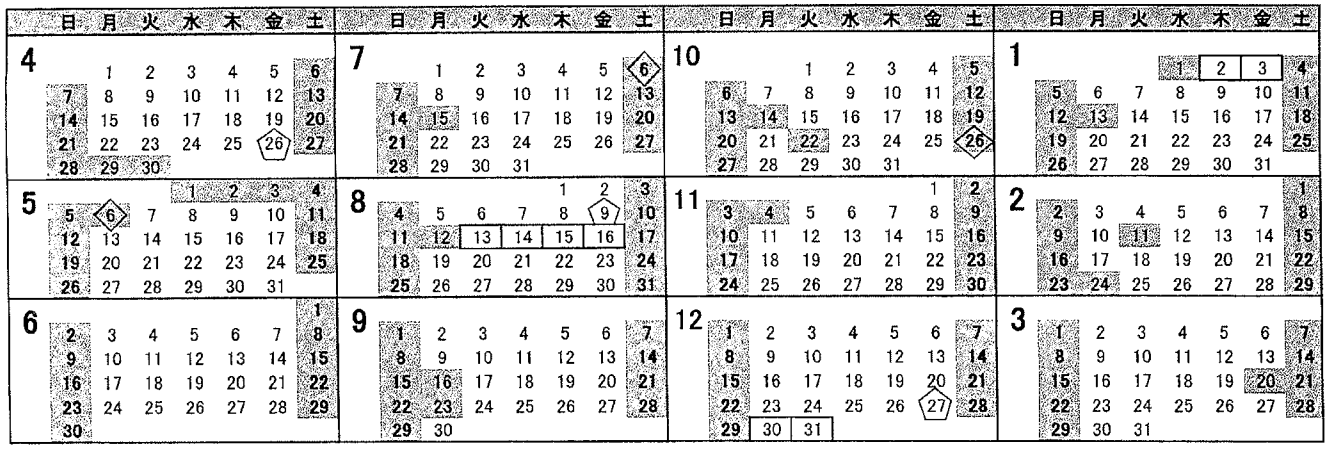
| 年度 | 月 | 全建築物 | | 鉄骨造 | | 鉄骨鉄筋造 | | 鉄骨推定重量計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 面積 | 前年同期比 | 面積 | 前年同期比 | 面積 | 前年同期比 | トン数 | 前年同期比 |
| 平成11年度計 | | 197,017 | 101.9 | 68,108 | 97.5 | 17,361 | 110.0 | 7,678,750 | 98.8 |
| 平成12年度計 | | 194,481 | 98.7 | 70,808 | 104.0 | 15,305 | 88.2 | 7,846,050 | 102.2 |
| 平成13年度計 | | 178,903 | 91.9 | 63,529 | 89.7 | 13,056 | 85.3 | 7,006,500 | 89.2 |
| 平成14年度計 | | 171,031 | 95.6 | 61,468 | 96.8 | 10,958 | 83.9 | 6,694,700 | 95.5 |
| 平成15年度計 | | 176,531 | 103.2 | 64,378 | 104.7 | 9,402 | 85.8 | 6,907,900 | 103.2 |
| 平成16年度計 | | 182,774 | 103.5 | 69,927 | 108.6 | 6,834 | 72.7 | 7,334,400 | 106.2 |
| 平成17年度計 | | 185,648 | 101.6 | 69,338 | 99.2 | 5,468 | 80.0 | 7,207,200 | 98.3 |
| 平成18年度計 | | 187,611 | 101.1 | 70,187 | 101.2 | 6,317 | 115.5 | 7,334,550 | 101.8 |
| 平成19年度計 | | 157,219 | 83.8 | 61,466 | 87.6 | 5,443 | 86.2 | 6,418,750 | 87.5 |
| 平成20年度計 | | 151,394 | 96.3 | 56,639 | 92.1 | 4,604 | 84.6 | 5,894,100 | 91.8 |
| 平成21年度計 | | 113,196 | 74.8 | 37,589 | 66.4 | 2,937 | 63.8 | 3,905,750 | 66.3 |
| 平成22年度計 | | 122,281 | 108.0 | 40,478 | 107.7 | 2,731 | 93.0 | 4,184,350 | 107.1 |
| 平成23年度計 | | 127,294 | 104.1 | 41,792 | 103.2 | 2,610 | 95.6 | 4,309,700 | 103.0 |
| 平成24年度計 | | 135,452 | 106.4 | 46,257 | 110.7 | 2,677 | 102.6 | 4,759,550 | 110.4 |
| 平成25年度計 | | 148,461 | 109.6 | 52,350 | 113.2 | 3,466 | 129.5 | 5,408,300 | 113.6 |
| 平成26年度計 | | 130,791 | 88.1 | 48,554 | 92.7 | 3,019 | 87.1 | 5,006,350 | 92.6 |
| 平成27年度計 | | 129,605 | 99.1 | 48,304 | 99.5 | 2,909 | 96.4 | 4,975,850 | 99.4 |
| 平成28年度計 | | 134,236 | 103.6 | 49,957 | 103.4 | 2,171 | 74.6 | 5,104,250 | 102.6 |
| 平成29年度計 | | 133,028 | 99.1 | 50,701 | 101.5 | 2,788 | 128.4 | 5,209,500 | 102.1 |
| 2018年度（平成30年度） | 4月 | 11,733 | 98.8 | 4,323 | 99.3 | 133 | 68.6 | 438,950 | 98.7 |
| | 5月 | 10,912 | 97.3 | 4,275 | 98.1 | 164 | 93.2 | 435,700 | 98.0 |
| | 6月 | 11,350 | 91.9 | 4,712 | 98.3 | 36 | 19.1 | 473,000 | 96.7 |
| | 7月 | 11,869 | 102.6 | 4,724 | 108.8 | 260 | 120.4 | 485,400 | 109.1 |
| | 8月 | 10,906 | 95.1 | 4,385 | 95.4 | 30 | 15.3 | 440,000 | 93.8 |
| | 9月 | 11,160 | 95.8 | 4,253 | 96.5 | 118 | 67.0 | 431,200 | 95.9 |
| | 10月 | 11,604 | 100.0 | 4,402 | 107.3 | 199 | 80.9 | 450,150 | 106.5 |
| | 11月 | 11,194 | 96.6 | 4,122 | 91.1 | 82 | 31.8 | 416,300 | 89.4 |
| | 12月 | 10,878 | 107.2 | 3,926 | 107.5 | 153 | 120.5 | 400,250 | 107.7 |
| | 1月 | 9,717 | 102.6 | 3,779 | 95.4 | 64 | 54.2 | 381,100 | 94.8 |
| | 2月 | 9,789 | 97.1 | 3,762 | 101.8 | 133 | 19.5 | 382,850 | 94.9 |
| | 3月 | 9,966 | 99.8 | 3,385 | 86.4 | 92 | 43.4 | 343,100 | 85.3 |
| 年度計 | | 131,078 | 98.5 | 50,048 | 98.7 | 1,464 | 52.5 | 5,078,000 | 97.5 |
| 2019年度（令和元年度） | 4月 | 11,222 | 95.6 | 3,919 | 90.7 | 200 | 150.4 | 401,900 | 91.6 |
| | 5月 | 10,552 | 96.7 | 3,761 | 88.0 | 147 | 89.6 | 383,450 | 88.0 |
| | 6月 | 11,812 | 104.1 | 4,283 | 90.9 | 75 | 208.3 | 432,050 | 91.3 |
| | 7月 | 11,974 | 100.9 | 4,756 | 100.7 | 131 | 50.4 | 482,150 | 99.3 |
| | 8月 | 11,167 | 102.4 | 4,211 | 96.0 | 50 | 166.7 | 423,600 | 96.3 |
| | 9月 | 10,316 | 92.4 | 3,483 | 81.9 | 152 | 128.8 | 355,900 | 82.5 |
| | 10月 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 11月 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 12月 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 1月 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 2月 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 3月 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 年度計 | | 67,043 | 98.7 | 24,413 | 91.5 | 755 | 101.9 | 2,479,050 | 91.7 |

（単位）面積　1,000㎡
前年同期比　%

（注）鉄骨推定所要量
鉄骨造　㎡×100kg
鉄骨鉄筋造　㎡×　50kg

# 2019(令和元)年度 主要会議日程表

2019.10.16 現在




■ ↓土日・祝日　□ ↓夏期・年末年始休日　◇ ↓休日出勤　⬠ ↓振替休日

| 開催年月日 | | | | | 時間 | 三役会 | 理事会 | 総会 | 全国理事長会<br>事務局長会議 | 委員会 | その他 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2019 年<br>(令和元年) | 4 | 月 | 5 | 日 | 金 | 12:00 ～ 18:00 | 12:00 | | | 15:00 ※ | | 16:30 懇親会 | ※事務局長会議 |
| | 5 | 月 | 10 | 日 | 金 | 14:00 ～ 17:00 | 14:00 | | | | | | |
| | 5 | 月 | 21 | 日 | 火 | 10:30 ～ 19:00 | 10:30 | 14:00 ※ | | | | 17:30 懇親会 | ※総会招集決議 |
| | 5 | 月 | 22 | 日 | 水 | 9:30 ～ 12:00 | | | | | 9:30 特別 | | 12:00-14:00全鉄評取締役会 |
| | 6 | 月 | 7 | 日 | 金 | 9:30 ～ 18:30 | 9:30 | 11:30 | 15:00 | | | 17:00 懇親会 | 14:00全鉄評株主総会 |
| | 7 | 月 | 3 | 日 | 水 | 12:00 ～ 17:00 | 12:00 | | | | | 14:00 青年部会幹部との懇談 | |
| | 7 | 月 | 11 | 日 | 木 | 10:30 ～ 19:00 | 10:30 | 14:00 | | | | 17:30 懇親会 | |
| | 7 | 月 | 12 | 日 | 金 | 9:30 ～ 12:00 | | | | | 9:30 特別 | | |
| | 8 | 月 | 28 | 日 | 水 | 14:00 ～ 17:00 | 14:00 | | | | | | |
| | 8 | 月 | 29 | 日 | 木 | 11:30 ～ 14:00 | | | | | | 11:30 技/審議会 | |
| | 9 | 月 | 10 | 日 | 火 | 14:00 ～ 17:00 | 14:00 | | | | | | |
| | 9 | 月 | 19 | 日 | 木 | 10:00 ～ 19:00 | 10:00 | 12:00 | | | | 15:00 賛助会員との意見交換会 | 16:30賛助会員との懇談会 |
| | 9 | 月 | 20 | 日 | 金 | 9:30 ～ 12:00 | | | | | 9:30 特別 | 13:30 各県青年部代表者との意見交換会 | 16:00各県青年部代表者との懇談会 |
| | 10 | 月 | 16 | 日 | 水 | 14:30 ～ 17:00 | 14:30 | | | | | | 12:00-14:00全鉄評取締役会 |
| | 11 | 月 | 13 | 日 | 水 | 11:00 ～ 17:00 | 11:00 | | | | 14:00 特別※ | | ※教育人材育成委員会のみ |
| | 11 | 月 | 21 | 日 | 木 | 13:00 ～ 19:30 | 13:00 | 15:00 | | | | 18:00 懇親会 | 大阪開催 |
| | 11 | 月 | 22 | 日 | 金 | 9:30 ～ 12:00 | | | | | 9:30 特別※ | | 大阪開催　※企画委員会のみ |
| | 12 | 月 | 12 | 日 | 木 | 12:00 ～ 14:00 | | | | | | | 12:00-14:00全鉄評取締役会 |
| | 12 | 月 | 13 | 日 | 金 | 14:00 ～ 19:30 | 14:00 | | | | | 18:00 事務局職員との懇親会 | |
| 2020 年<br>(令和2年) | 1 | 月 | 17 | 日 | 金 | 9:30 ～ 18:00 | 9:30 | 12:00 | | 15:00 ※ | | 16:30 賀詞交歓会 | ※全国理事長会 |
| | 2 | 月 | 4 | 日 | 火 | 11:00 ～ 17:00 | 11:00 | | | | | 15:30 技術研究開発助成案件選考会議 | |
| | 2 | 月 | 13 | 日 | 木 | 10:30 ～ 19:00 | 10:30 | 14:00 | | | | 17:30 懇親会 | |
| | 2 | 月 | 14 | 日 | 金 | 9:30 ～ 12:00 | | | | | 9:30 特別 | | |
| | 3 | 月 | 10 | 日 | 火 | 14:30 ～ 17:00 | 14:30 | | | | | | 12:00-14:00全鉄評取締役会 |
| | 3 | 月 | 18 | 日 | 水 | 10:30 ～ 19:00 | 10:30 | 14:00 | | | | 17:30 懇親会 | |
| | 3 | 月 | 19 | 日 | 木 | 9:30 ～ 12:00 | | | | | 9:30 特別 | | |

*

**関連団体**

【青年部会】
総会・全国大会： 平成31(2019)年4月20日(土) 名古屋

**その他**

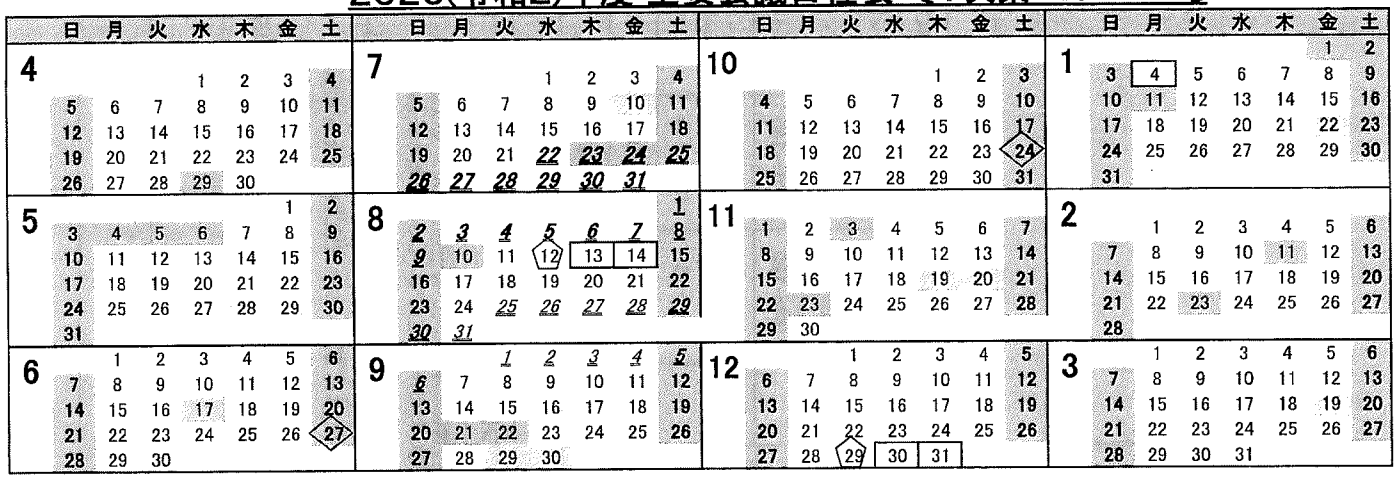
**2020(令和2)年度予定**

| | |
|---|---|
| 2020年4月10日(金) | 三役会(12:00) 全国事務局長会議(15:00) 懇親会(16:30) |
| 2020年5月19日(火) | 三役会(14:00) |
| 2020年5月28日(木) | 三役会(10:30) 理事会(14:00) |
| 2020年6月17日(水) | 三役会(9:00) 理事会(11:30) 総会(15:00) 懇親会(17:00)<br>参考:全鉄評株主総会(14:00) |

* ＝ 変更箇所

# 2020(令和2)年度 主要会議日程表 〔1次素 19-1121.〕

2019.11. 21. 現在




↓土日・祝日　↓夏期・年末年始休日　↓三役会　↓理事会　↓休日出勤　↓振替休日　↓特別委

| 開催年月日 | | | | | 時間 | 三役会 | 理事会 | 総会 | 全国理事長会<br>事務局長会議 | 委員会 | その他 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2020 年<br>(令和2年) | 4 | 月 | 10 | 日 金 | 12:00 ～ 18:00 | 12:00 | | | 15:00 ※ | | 16:30 懇親会 | ※全国事務局長会議 |
| | 5 | 月 | 19 | 日 火 | 14:00 ～ 17:00 | 14:00 | | | | | | |
| | 5 | 月 | 28 | 日 木 | 10:30 ～ 17:00 | 10:30 | 14:00 | | | | | |
| | 6 | 月 | 17 | 日 水 | 9:30 ～ 18:00 | 9:30 | 11:30 | 15:00 | | | 17:30 懇親会 | 14:00全鉄評株主総会 |
| | 6 | 月 | 30 | 日 火 | 10:30 ～ 18:30 | 10:30 新初 | | | | 13:30 新初 | 17:00 懇親会 | 運営委13:30～、技術委14:00～ |
| | 7 | 月 | 8 | 日 水 | 14:00 ～ 17:00 | 14:00 | | | | | | 18:30三役-NSC懇談 |
| | 7 | 月 | 9 | 日 木 | 10:30 ～ 18:30 | 10:30 | 14:00 新初 | | | | 17:00 懇親会 | |
| | 7 | 月 | 10 | 日 金 | 9:30 ～ 12:00 | | | | | 9:30 特別 | | |
| | 9 | 月 | 16 | 日 水 | 14:00 ～ 17:00 | 14:00 | | | | | | 18:00三役-JFES懇談 |
| | 9 | 月 | 17 | 日 木 | 11:30 ～ 14:00 | | | | | | 11:30 鉄骨技術審議会 | |
| | 9 | 月 | 29 | 日 火 | 10:30 ～ 18:00 | 10:00 | 12:00 | | | | 15:00 賛助会員懇談会 | 16:30懇親会 |
| | 9 | 月 | 30 | 日 水 | 9:30 ～ 12:00 | | | | | 9:30 特別 | | |
| | 10 | 月 | 14 | 日 水 | 14:00 ～ 17:00 | 14:00 | | | | | | |
| | 11 | 月 | 11 | 日 水 | 14:00 ～ 17:00 | 14:00 | | | | | | |
| | 11 | 月 | 19 | 日 木 | 10:30 ～ 17:00 | 10:30 | 14:00 | | | | | |
| | 11 | 月 | 20 | 日 金 | 9:30 ～ 18:00 | | | | | 9:30 特別 | 13:30 各県青年代表者意見交換会 | 16:00懇親会 |
| | 12 | 月 | 11 | 日 金 | 14:00 ～ 17:00 | 14:00 | | | | | 18:00 事務局職員との忘年会 | |
| 2021 年<br>(令和3年) | 1 | 月 | 22 | 日 金 | 9:30 ～ 18:30 | 9:30 | 12:00 | | 15:00 ※ | | 16:30 新年賀詞交歓会 | ※全国理事長会議 |
| | 2 | 月 | 10 | 日 水 | 14:00 ～ 17:00 | 14:00 | | | | | | |
| | 2 | 月 | 18 | 日 木 | 10:30 ～ 17:00 | 10:30 | 14:00 | | | | | |
| | 2 | 月 | 19 | 日 金 | 9:30 ～ 12:00 | | | | | 9:30 特別 | | |
| | 3 | 月 | 9 | 日 火 | 14:00 ～ 17:00 | 14:00 | | | | | | |
| | 3 | 月 | 18 | 日 木 | 10:30 ～ 17:00 | 10:30 | 14:00 | | | | | |
| | 3 | 月 | 19 | 日 金 | 9:30 ～ 18:00 | | | | | 9:30 特別 | | |
| | | 月 | | 日 | ～ | | | | | | | |

**関連団体**

【青年部会】
総会・全国大会 ： 2020年4月25日(土)京都
〃　　2021年　月　日(土)

**その他**

**2021(令和3)年度予定**

| | |
|---|---|
| 2021年4月9日(金) | 三役会(12:00) 全国事務局長会議(15:00) 懇親会(16:30) |
| 2021年5月12日(水) | 三役会(14:00) |
| 2021年5月21日(木) | 三役会(10:30)　理事会(14:00) |
| 2021年6月11日(金) | 三役会(9:00) 理事会(11:30) 総会(15:00) |
| | (参: 全鉄評株主総会(14:00)　L懇親会(17:00) |

# ＜ 北海道支部 ＞ 状 況 報 告 書

2019年（令和元年） 9月分

提出日 令和元年10月10日

(A)

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|---|---|---|
| 支部 | 道内各支部活動・行事等 | 北海道支部（鉄骨部会）活動・行事等 |
| 道央 | 2日（月） 三役会・役員会<br>10日（火） 例会 | 5日（木）～6日（金）<br>東北支部との交流会・工場視察会 |
| 函館 | 21日（土） 支部パークゴルフ、懇親会 | |
| 室苫小樽 | 18日（水） 室蘭ブロック会議（役員会報告） | |
| 旭川 | 9日（月） 営業担当者会議 | |
| 北見 | 18日（水） 第78回3地区釧路会議<br>24日（火） 月例委員会 | |
| 帯広 | 18日（水） 3地区会議（釧路開催）<br>25日（水） 月例会 | |
| 釧路 | 18日（水） 3地区会議（40名出席） | |

(B)

| ①手持工事量（ヶ月） | | | | ②稼働率（%） | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費（千円） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 支部 | H | M | R・J | 稼働率（%） | 多い | 普通 | 少ない | S造（H＋H） | S造（コラムH） | SRC造 |
| 道央 | 3 ～ 9 | 2 ～ 5 | 1 ～ 5 | 90 ～ 120 | | ○ | | 77～250 | 76～190 | 86～180 |
| 函館 | 3 | 3 ～ 4 | 2 ～ 3 | 80 ～ 100 | | | ○ | 110～180 | 120～200 | － |
| 室苫小樽 | 5 ～ 8 | 1 ～ 4 | 1 ～ 3 | 90 ～ 110 | | ○ | | 150～190 | 130～180 | － |
| 旭川 | 10 | 3 ～ 6 | | 100 ～ 100 | | | ○ | 100～150 | 100～150 | － |
| 北見 | | 4 ～ 7 | | 100 ～ 120 | | ○ | | 170～180 | 160～170 | － |
| 帯広 | 7 | 2 ～ 8 | 2 ～ 3 | 100 ～ 120 | | | ○ | 75～160 | 90～160 | － |
| 釧路 | 10 | 1 ～ 8 | | 90 ～ 110 | | ○ | | 120～180 | 140～230 | － |

(C)

| 支部 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|---|---|
| 道央 | ・H、Mグレードは山積みが高いが、R、未認定はバラつきがある。来年度の物件情報も増加している一方、足元の見積が減少しているとの声もある。図面の決まりが悪く、山積み調整に苦慮している。HTB入手困難のためRCに流れているとの情報もある。<br>・共同積算：1～9月 79,813t 平年比78% 前年比78% |
| 函館 | ・先月と変わらず各会員、稼働率については高めで推移しているが、見積り量は少ない。価格については大きく変わりなし。 |
| 室苫小樽 | ・各工場共に、年内の山積みは100%の状況である。HTBは、以前と比較して改善してきてはいるものの、相変わらず厳しい状況。 |
| 旭川 | ・道北地区の物件は少ない。 |
| 北見 | ・相変わらず図面の承認遅れ、現場工程の変更で、工場の製作工程の調整に苦慮している。 |
| 帯広 | ・HTBの入荷は、やや落ち着きが見えてきた。新規見積りが各社例年より少ない状況。 |
| 釧路 | ・各社多忙中。10月がピークの会社が多く残業も増加しており、働き方に問題があると思われる。 |

# ＜ 北海道支部 ＞ 状 況 報 告 書

2019年（令和元年） 10月分

提出日 令和元年11月8日

(A)

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|---|---|---|
| 支部 | 道内各支部活動・行事等 | 北海道支部（鉄骨部会）活動・行事等 |
| 道央 | 7日（月） 三役会・役員会 | 8日（火） 第5回役員会・共済推進会議 |
| 函館 | 30日（水） 支部例会 | |
| 室苫小樽 | | |
| 旭川 | 7日（月） 営業担当者会議 | |
| 北見 | 23日（水） 月例委員会 | |
| 帯広 | 24日（木） 月例会 | |
| 釧路 | 1日（火） 例会 | |

(B)

| ①手持工事量（ヶ月） | | | | ②稼働率（%） | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費（千円） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 支部 | H | M | R・J | 稼働率（%） | 多い | 普通 | 少ない | S造（H＋H） | S造（コラムH） | SRC造 |
| 道央 | 3 ～ 9 | 2 ～ 5 | 1 ～ 5 | 90 ～ 120 | | ○ | | 77～250 | 75～240 | 86～180 |
| 函館 | 2 | 3 | 2 ～ 3 | 80 ～ 100 | | | ○ | 110～180 | 120～200 | － |
| 室苫小樽 | 3 ～ 12 | 1 ～ 6 | 1 ～ 3 | 90 ～ 120 | | ○ | | 120～190 | 120～180 | － |
| 旭川 | 10 | 2 ～ 5 | | 90 ～ 100 | | | ○ | 100～150 | 100～150 | － |
| 北見 | | 3 ～ 5 | | 100 ～ 110 | | ○ | | 170～180 | 160～170 | － |
| 帯広 | 7 | 1 ～ 7 | 1 ～ 3 | 90 ～ 120 | | | ○ | 75～155 | 80～160 | － |
| 釧路 | 8 | 1 ～ 6 | | 90 ～ 110 | | ○ | | 120～180 | 140～230 | － |

(C)

| 支部 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|---|---|
| 道央 | ・H、Mグレードは山積みが高いが、R、未認定は低い。当面、工場の稼働率は高いが、来年度の物件情報は増加している一方、足元の引き合いは減少している。図面の決まりが悪く、山積み調整に苦慮している。㈱札幌共同積算事務所の積算が、半年ぶりに1万トンを超えた。<br>・共同積算：1～10月 90,086t 平年比81% 前年比81% |
| 函館 | ・先月と変わらず各会員、稼働率については高めで推移しているが、見積り量は少ない。価格については大きく変わりなし。 |
| 室苫小樽 | ・ブロックによっては非常に忙しい工場がある一方、今現在落ち着いている工場もある。設計図の遅延などで、工場製作が遅れている物件が引き続きある状況。 |
| 旭川 | ・受注工事のバラつきが出ている。 |
| 北見 | ・来年度の計画が出始めているが、どの程度見込めるのかは未定。 |
| 帯広 | ・現状の多忙感はあるが、見積りの減少による来年以降の先行きを、各社不安視している。 |
| 釧路 | ・各社年末に向けて追い込みをかけている状況。繁忙期における労働災害の絶滅に向け、安全活動を推進していく。 |

# ＜東北支部＞ 状 況 報 告 書

## 2019 年（令和元年）9 月分

（A）

提出日　令和元年 10 月 10 日

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|---|---|---|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 東北支部活動・行事等 |
| 青森県 | ○9/13　積算業務担当者会議 | ○9/5<br>東北鉄構連積算業務委員会（仙台）<br>○9/5～6<br>2019 秋期 NDI-UT レベル 1 直前学科講習会（多賀城）<br>○9/24<br>全構協東北支部共済推進会議、事務局会議（仙台） |
| 岩手県 | ○9/6　青年部東北サミット<br>○9/17　盛岡支部会<br>○9/18　県南支部会 | |
| 宮城県 | ○9/17　営業担当者会議・役員会<br>○9/18　鉄骨製作管理技術者受験対策講習会 | |
| 秋田県 | ○9/10　営業担当者会議<br>○9/26.27　鉄骨製作管理技術者講習会 | |
| 山形県 | ○9/2　青年部役員会<br>○9/6　青年部東北サミット<br>○9/26　三役会、役員及び庄内支部会員合同会議 | |
| 福島県 | ○9/11　第 3 回理事会<br>○9/19　第 4 回青年部役員会<br>○9/28　青年部・賛助会との交流会並びに親善ゴルフコンペ | |

（B）

| ①手持ち工事量（ヵ月） | | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費（千円） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都道府県 | H | M | R･J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S 造 (H+H) | S 造 (コラム H) | SRC 造 |
| 青森県 | 5～13 | 2～4 | 3～4 | 90 ～ 120 | | ○ | | 65～80 | 60～90 | |
| 岩手県 | 2～8 | 3～6 | 1～3 | 90 ～ 115 | | | ○ | 55～100 | 55～120 | |
| 宮城県 | 5～9 | 2～6 | 2～5 | 90 ～ 110 | | | ○ | 70～80 | 75～100 | |
| 秋田県 | 5～7 | 3～6 | 3～4 | 90 ～ 120 | | | ○ | 65～100 | 60～100 | |
| 山形県 | 3～9 | 3～9 | 2～4 | 90 ～ 120 | | ○ | | 70～120 | 70～110 | |
| 福島県 | 8～11 | 2～12 | 1～6 | 80 ～ 120 | | ○ | | 60～170 | 60～170 | |

（C）

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|---|---|
| 青森県 | 工場稼働率は、引続き全体的に高水準で推移したが、見積申告物件数は、前月以降低水準が続く。が、年明け以降の仕事量も見据えた調整もあるとの声も多い。受注価格は相変わらず厳しい状況。 |
| 岩手県 | 手持ち工事量・工場稼働率は引き続き高水準を維持しているが、依然として見積物件数は低迷している。県内は大型物件の話も聞かれず、年明け～春先に向けて不透明感が増大している。 |
| 宮城県 | 今月も県内見積依頼数は少ない。4 月からの働き方改革の施行前にいかに現状の山積を消化するのか大事になってくる。 |
| 秋田県 | 前月同様物件数少ない。受注単価は相変わらず厳しい状況。 |
| 山形県 | 手持工事量・稼働率に大きな変動はない今月の見積物件数は、県内外共は前月比同数であったが、特に県外が昨年と比べ大幅に減少傾向である。 |
| 福島県 | 年内の加工製作分は概ね確保しているが、設計・元請けからの回答が遅く、十分な工場製作期間の確保が難しい。また、遅延・変更による製作時期への影響も発生している状況。鋼材費が変動しているが、人件費や消耗費等は値上げ傾向なので、加工費値下げの要因にならないように各社心掛けて欲しい。 |

# ＜東北支部＞ 状 況 報 告 書

## 2019 年（令和元年）10 月分

提出日　令和元年 11 月 5 日

（A）

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|---|---|---|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 東北支部活動・行事等 |
| 青森県 | ○10/16　積算業務担当者会議、ＹＳアリーナ八戸見学会役員会・懇親会（@八戸市）、八戸市長講話会<br>○10/17　会員親睦ゴルフ大会 | ○10/9<br>東北鉄構連積算業務委員会（仙台）<br>○10/10～15<br>2020 春期 NDI-UT レベル 1 超音波探傷基礎講座（多賀城）<br>○10/29<br>10 月期役員会、近畿支部との意見交換会・交流会（仙台） |
| 岩手県 | ○10/5　青年部役員会、JSCA 岩手との合同研修会<br>○10/8　性能評価申請書記入説明会<br>○10/16　県南支部会<br>○10/23　盛岡支部会 | |
| 宮城県 | ○10/4　工場審査<br>○10/23　営業担当者会議<br>○10/24　青年部会工場見学会・懇親会 | |
| 秋田県 | ○10/16　営業担当者会議<br>○10/21　フルハーネス特別講習会 | |
| 山形県 | ○10/11～12　「鉄骨製作管理技術者」受験準備講習会<br>○10/18　営業実務者会議<br>○10/23　超音波探傷技術研究会役員会 | |
| 福島県 | ○10/24　働き方改革関連法セミナー及び第 3 回営業責任者会議、臨時理事会<br>○10/25　青年部役員会 | |

（B）

| ①手持ち工事量（ヵ月） | | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費（千円） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都道府県 | H | M | R･J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S 造 (H+H) | S 造 (コラム H) | SRC 造 |
| 青森県 | 3～12 | 2～5 | 2～3 | 90 ～ 100 | | | ○ | 65～85 | 60～80 | |
| 岩手県 | 2～10 | 2～6 | 1～3 | 70 ～ 100 | | ○ | | 55～90 | 55～110 | |
| 宮城県 | 5～8 | 3～8 | 2～3 | 50 ～ 110 | | | ○ | 70～85 | 70～100 | |
| 秋田県 | 6～6 | 2～6 | 1～4 | 70 ～ 120 | | | ○ | 65～100 | 60～100 | |
| 山形県 | 3～10 | 3～6 | 2～3 | 90 ～ 120 | | | ○ | 70～110 | 70～110 | |
| 福島県 | 8～9 | 2～12 | 1～11 | 10 ～ 120 | | ○ | | 65～170 | 55～170 | 85～90 |

（C）

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|---|---|
| 青森県 | 見積依頼物件は、前月に引続き減少傾向が続いている。工場稼働率も全体的に低下しており、図面承認の遅れから工程・山積調整が難しいとの声が多い。繁忙が予想される冬季の仕事量に影響が出ないよう、今後はしわ寄せによる時間管理等「働き方改革」に対する課題も多い。価格については大きな変化なし。 |
| 岩手県 | 見積物件数は若干改善したがこれまで低水準で推移した分多少元に戻った程度。工場稼働率・手持ち工事量は引き続き高水準ながら、バラツキがみられるようになっており、支部会等において組合員間の横の連携を取るよう注意を促している。 |
| 宮城県 | 見積依頼件数は少ない。各現場共に工程が遅れがちで、製作工程のやりくりに苦労しそうである。 |
| 秋田県 | ここへきて見積り物件数がかなり少なくなってきている。価格も一向に上がらず冬場へ向けて厳しい状況である。 |
| 山形県 | 県内見積物件数は前月に比べ少なく、特に広域物件は 0 件であり、今後の仕事量が心配される。 |
| 福島県 | 台風 19 号で、組合員数社、シャーリング・ガス・ボルト業者等も、広範囲に甚大な浸水被害をうけた。復旧まで当面助け合っていきたい。来春頃までの受注残はある様だが、計画変更や遅延はもとより、元請のチェックバック承認遅延、また外注監督に頼ることによる弊害等が出ている様子。 |

# ＜ 関東支部 ＞ 状 況 報 告 書

2019年（令和元年） 9月分

提出日 令和元年11月7日

(A)

| ①全構協推進事業の現状 | | | ②支部活動状況 |
|---|---|---|---|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | | 関東支部活動・行事等 |
| 東京都 | 4日性能評価（後期）説明会 5日全国M部会幹事会 13日フルハーネス講習会 18日東地区会 19日運営委員会 22日～23日鉄骨製作管理技術者受験準備講習会<br>24日M会、理事会 27日～28日全国M工場見学会（群馬県鐵建）・交流会（伊香保） | | ・19日 関東支部運営委員会<br><br>・UTレベル1基礎講座開催予定<br>群馬会場：各2回<br>千葉会場：各2回 |
| 千葉県 | 6日（金）～8日（日） 西部支部研修旅行、12日（木） 青年部役員会議<br>26日（木） 青年部・JSCA合同役員会議 | | |
| 神奈川県 | 18日 Mグレード部会、20日 全構協と各都道府県青年部との意見交換会、25日 役員会、27～28日 Mグレード部会・工場見学、28日 RJNグレード部会・研修会 | | |
| 茨城県 | 31,1,7,8日UT1・2学科講習会、5日県知事激励会、14日ボーリング大会、21日JIS溶接検定試験、26日外国人雇用と働き方改革勉強会並び実習生受入企業情報交換会 27日水戸日建工科専門学校PR活動 その他実習生監査・巡回指導等 | | |
| 埼玉県 | 9月 4日(水) 総務委員会<br>9月 6日(金) 青年部会役員会<br>9月 7日(土) 三峯神社安全祈願、県北・県西支部会<br>9月 8日(日) 三峯会ゴルフコンペ<br>9月11日(水) 理事会、展示販売会打合せ会議(第2回) | 9月12日(木) 埼玉県建設産業担い手確保・育成ネットワーク幹事会<br>9月20日(金) 性能評価研修会<br>9月21日(土) 展示販売会<br>9月24日(火) 県東支部会 | |
| 栃木県 | 9/3 消費税10%対策講習会、9/12 定例理事会、9/12 県土整備部建築課との懇談会、9/26 青年部役員会、 | | |
| 群馬県 | 8日組合ゴルフコンペ、10日経営近代化委員会役員会、21日青年部会研修会・懇親会 | | |
| 長野県 | ・4日（水）青年部研修会 ・14日（土）UT学科講習会 | | |
| 山梨県 | 5日 溶接競技大会審査要領書改訂会議<br>6日 県溶接競技大会(6/1日実施)表彰式<br>〃 理事会<br>14日 溶接技能者評価試験（JIS検定）<br>18日 県労働災害防止団体連絡会<br>24日 工場審査説明会 | 24日 青年部会<br>25日 溶接安全委員会<br>26日 経営近代化委員会<br>27日 教育技術委員会<br>30日 日本溶接協会WEB化申請説明会<br>NDI－UT学科試験準備講習 3、4日<br>アーク溶接特別教育講習 17、18日 | |
| 新潟県 | 9/18 女性部会 親睦事業、9/19 第3回関東支部運営委員会<br>9/20 第13回 親睦ゴルフコンペ、9/21 鉄骨製作管理技術者講習会 1級 23名<br>9/22 鉄骨製作管理技術者講習会 2級 14名、9/18～19 後期の審査準備説明会 | | |

(B)

| ①手持工事量（ヶ月） | | | | ②稼働率（%） | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費（千円） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都道府県 | H | M | R・J | 稼働率（%） | 多い | 普通 | 少ない | S造（H＋H） | S造（コラムH） | SRC造 |
| 東京都 | 12～16 | 6～8 | 3～4 | 80～100 | | | ○ | 95～150 | 100～150 | — |
| 千葉県 | 3.0 | 4～6 | 3～4 | 80～100 | | ○ | | 98～145 | 95～135 | — |
| 神奈川県 | 8～9 | 2～11 | 4 | 50～100 | | ○ | | 60～180 | 50～140 | 125～170 |
| 茨城県 | 10 | 6 | 3 | 80～120 | | ○ | | 65～95 | 70～100 | — |
| 埼玉県 | 6～15 | 3～7 | 2～5 | 70～100 | | ○ | | 80～210 | 72～220 | — |
| 栃木県 | 8～10 | 2～8 | 1～4 | 80～100 | | ○ | | 100～130 | 90～130 | — |
| 群馬県 | 6～14 | 3～7 | 1～4 | 70～100 | | | ○ | 60～160 | 55～160 | — |
| 長野県 | 8 | 6.5 | | 95 | | ○ | | 100 | 85 | 160 |
| 山梨県 | 8～14 | 2～13 | 2～3 | 80～100 | | | ○ | 90～160 | 85～160 | 110～130 |
| 新潟県 | 5～12 | 2～7 | 1～8 | 70～100 | | ○ | | 85～90 | 85～95 | — |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|---|---|
| 東京都 | 高力ボルトの供給は少し緩和されてきている。台風15号による被害は一部地域であるが受けた。（主に千葉県内にある工場） |
| 千葉県 | 職人より管理者が不足している。仕事量として8割操業程。HTB納期は短くなっている。<br>台風15号による被害（停電、破損など）で業務停止 |
| 神奈川県 | 台風15号の影響で大きな被害にあわれた工場があり、仕事の融通等を検討。現場の納期にも影響している物件もある。<br>HTBの状況は不変。 |
| 茨城県 | ・HTBは、相変わらず入手困難であり、見積もりに影響している。ゆえに山積みにばらつきが大きい。<br>・特定技能は未だ不確定要素が多く特に建築業は使えないので、技能実習生事業のみを継続する。 |
| 埼玉県 | 先だっての埼玉県並びに建設業各団体で構成される埼玉県建設産業担い手確保・育成ネットワークの幹事会では、各種データーの分析を行った。その中で、従事者の労働生産性は2001年から15年間で、製造業は47.4%増、卸売・小売業は8.6%増に対し建設業は1.1%減であった。今般の働き方改革関連法の施行に伴い生産性向上は急務であるが、製造業と建設業の2面性を持ち合わせ、入職希望者も少なく、かつ、資本力の乏しい我々中小企業にとってはその具現化が悩ましい。 |
| 栃木県 | 受注山積み量のバラツキが出てきている。地場の見積物件が少ない。加工単価の下落傾向の声もきかれる。 |
| 群馬県 | 来春以降の物件の問い合わせが例年より多いが、反面、来春までの見積依頼は減少している。 |
| 長野県 | ・年明け～春先の新規物件が薄い様な気がします。大型物件の協力で半年先まで入れました。<br>・HTBの調達に苦労。まだ続くのか？<br>・図面の決まりが悪い。 来年、夏過ぎの関東物件の話が沢山ある。<br>・大型物件の一部分の見積もりが多い。<br>・現状は非常に忙しくしているが、来年以降やはり不安である。 |
| 山梨県 | ①Mレベルで手持量の差が大きくなってきている。<br>②鋼材価格が頭打ちとなり、値下げ傾向が見受けられる。物件価格が値下げ競争にならない様、意識をもって下げないよう努力する。<br>③NDI－UT秋期学科試験（9/21、22日）対策で準備講習会を実施した。 |
| 新潟県 | 引合い物件数が少なくなってきている。この先、発件数が少なくなり、受注や山積みが減少する可能性がある。<br>新潟県の冬期間は、仕事量が減少する傾向があるが、その時期と重ならないか注視している。 |

# ＜ 関東支部 ＞ 状 況 報 告 書

2019年(令和元年) 10月分

提出日 令和元年11月7日

(A)

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|---|---|---|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 関東支部活動・行事等 |
| 東京都 | 5日全国R・Jグレード部会役員会(京都市)、11日関東支部共済推進会議(アルカデイア市ヶ谷)、16日フェーズドアレー研究会(組合)、29日M会・理事会 | ・11日 共済推進会議<br>・17日～18日 第3回関東支部会(延期)<br>・18日～22日<br>23日～27日<br>UTレベル1基礎講座(群馬会場) |
| 千葉県 | 10日(木)建産連理事会 18日(金)青年部全体会議<br>25日(金)三役・支部長会、理事会、理事・賛助会合同会議 | |
| 神奈川県 | 4日 全国R・Jグレード部会連絡会役員会、11日 関東支部共済推進会議、<br>24日 役員会 | |
| 茨城県 | 5日 といし安全教育 賛助会交流会、10日 建築団体交流会、<br>23日 第4回理事会、25日 茨城労働局派遣事業適正化協力員会議 | |
| 埼玉県 | 2日(水) 総務委員会<br>6日(日) 青年部会県西支部懇親会<br>9日(水) 理事会<br>16日(水) PA検査法確立WG<br>21日(月) 組合監査<br>20～21日(土～日) 県南支部研修旅行<br>26～28日(土～月) 県北支部研修旅行 | |
| 栃木県 | 10/10 定例理事会、10/10 栃木県鋼構造建築技術協議会総会、<br>10/11 関東支部共済推進会議、10/18 青年部・宮崎県青年部との交流会、<br>10/27・28 工業会研修旅行、 | |
| 群馬県 | 3日 県自民党へS造化の推進を陳情、17日 青年部全員協議会、8日 令和元年後期性能評価申請書提出(8社) | |
| 長野県 | ・4日(金)性能評価講習会 ・10日(木)M会役員会 ・27日(日)UT実技講習会 | |
| 山梨県 | 1日 工場審査説明会(4社)<br>2日 山梨県産業安全衛生大会(主催者側)<br>10日 理事会<br>16日 溶接安全委員会<br>16日 安全パトロール(6社)<br>19日 溶接JIS検定<br>23日 青年部会<br>25日 経営近代化委員会<br>(講習) アーク溶接特別教育24～26日<br>5ton未満クレーン特別教育25、26日 | |
| 新潟県 | 10/04 第4回関東ブロック役員会<br>10/11 関東支部 共済推進会議、女性部会 講演会・親睦会<br>10/25 第2回総務委員会 | |

(B)

| ①手持工事量(ヶ月) | | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費(千円) | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都道府県 | H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H＋H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 東京都 | 12 | 6 | 3 | 95 | | | ○ | — | 140 | — |
| 千葉県 | 3.0 | 3.5～6 | 2.5～3 | 80～100 | | ○ | | 145～155 | 95～155 | 160 |
| 神奈川県 | 8～10 | 2～10.5 | | 50～100 | | ○ | | 50～180 | 50～140 | 130～170 |
| 茨城県 | 2～4 | 4～6 | 10 | 80～100 | | ○ | | 70～100 | 75～100 | — |
| 埼玉県 | 6～15 | 3～7 | 2～5 | 70～100 | | ○ | | 80～210 | 73～220 | 90～110 |
| 栃木県 | 8～10 | 2～8 | 2～3 | 80～120 | | ○ | | 90～130 | 90～130 | — |
| 群馬県 | 5～10 | 2～6 | 1～4 | 75～100 | | | ○ | 60～170 | 55～170 | 75～95 |
| 長野県 | 8 | 5 | 4 | 97 | | | ○ | 81 | 80 | — |
| 山梨県 | 7～14 | 2～12 | 2～3 | 80～100 | | | ○ | 90～160 | 90～160 | — |
| 新潟県 | 8～15 | 2～6 | 2～8 | 90～100 | | | ○ | 85～105 | 85～100 | — |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|---|---|
| 東京都 | ボルトの需給問題はかなり緩和されつつある。しかしメッキボルトは全く入手困難。水害で1社、工場、事務所1.2メートルの浸水 |
| 千葉県 | トルシア型の高力ボルトは案外入手できるが、メッキF8Tが入手できない。仕事量もの足らず。HTB納期は1ヶ月～2ヶ月。物件の話はあるが、決定待ち状態。見積が少なくなってきていて来年度の引合いが鈍い。度重なる台風により千葉は災害に見舞われ、災害時の災害対策・事業継続・雇用・保険等あらゆる施策を業界を挙げて今一度点検の必要あり。 |
| 神奈川県 | 稼働、山積み等は先月と変わらない様子。HTBの納期は改善しつつあるが、F8Tに関してはまだまだ納期に時間がかかっている。台風15号、19号の影響で、一部の一次加工業者の納期に時間がかかるようになった。 |
| 茨城県 | 都内の小規模鉄骨の引き合いが全く無くなった、鉄骨離れが進んでいるとおもう。<br>圏央道を中心に物流倉庫は出ているが、ほぼシステム建築になっている。 |
| 埼玉県 | ボルトの納期問題はメッキ物以外は落ち着きを取り戻している模様。「高力ボルト標準発注様式」について流通業者大手2社(全国区)に聞いてみたが1社は話もきていないし実施していない。もう1社はメーカー1社のみつい最近話がきたが実効性は乏しいのではないかと意見したとのことであった。 |
| 栃木県 | ・台風19号被災工場2件 ・災害時緊急連絡方法の見直し検討 ・受注山積み量のバラツキが出てきている。 |
| 群馬県 | 高力ボルトの需給状況は少しずつ改善されていると思うが、加工単価の下落と見積物件数の減少で来春の仕事量が心配である |
| 長野県 | ・地方物件、関東物件の単価が来年度工事において下落傾向にある。<br>・地元の工事が少ない。先行き不透明である。<br>・見積が少なくこれから競合になりそう。<br>・HTBは、いまだに改善されない。 |
| 山梨県 | 台風等の風雨による直接的な被災は避けられたものの道路・交通網が途絶え改めて山梨の物流事情の脆弱性が露呈し、BCP策定の必要性があると考える。青年部による「測定くん」の製作販売を開始した(協会HPに応募要項をアップ) |
| 新潟県 | 各グレードとも、引合い物件数が少なくなってきている。また、手持ち工事量も減少してきている。新潟県の冬期間は仕事量が減少する傾向があるが、先行き不安による低価格受注が出ないよう、会員間での情報交換が必要となってくる。 |

# ＜北陸支部＞ 状況報告書

2019年（令和元年） 9月分

(A)

提出日 令和 元年 11 月 6 日

| ① 全構協推進事業の現状 | | ② 支部活動状況 |
|---|---|---|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 北陸支部活動・行事等 |
| 富山県 | 11日(水) 富山県中小企業団体中央会・情報連絡員会議<br>13日(金) 組合員と賛助会員との親睦ゴルフ・懇親交流会 | 19日(木) 第5回理事会 ・賛助会員との懇談会<br>20日(金) ・第3回品質管理委員会<br>・全構協と青年部との意見交換会<br>・北陸支部事務局連絡会議(金沢) |
| 石川県 | 1日(日) 組合ゴルフ大会(片山津)<br>11日(水) 第5回三役会、第4回理事会<br>25日(水) 第4回青年部役員会 | |
| 福井県 | 9日(月) 総務委員会<br>9日(月) 福井県建築業団体連合会 理事監事会<br>11日(水) UTレベル1学科講習会(～13日)<br>12日(木) 定例三役会、理事会<br>18日(水) 認定部会役員会、例会<br>30日(月) 共同受注事業に係る会議 | |

(B)

| ①手持工事量(ヶ月) | | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費(千円) | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都道府県 | H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H＋H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 富山県 | 6 ～ 12 | 3 ～ 6 | 2 ～ 4 | 90 ～ 100 | | ○ | | 110 ～ 130 | 90 ～ 110 | ～ |
| 石川県 | 3 ～ 12 | 2 ～ 4 | 1 ～ 2 | 90 ～ 100 | | ○ | | 90 ～ 130 | 75 ～ 120 | ～ |
| 福井県 | 5 ～ 11 | 4 ～ 7 | 1 ～ 3 | 80 ～ 110 | | ○ | | 100 ～ 160 | — | — |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|---|---|
| 富山県 | 高力ボルト納期問題が多少なりとも改善しつつある中、大手ファブと地場物件中心の中小ファブの格差が一段と広がったと感じられる。現在と今後の仕事量、見積り件数等が大手ファブは大変多く、中小ファブは先細り状態であり、心配される。不安感からか一部では安値受注が出てきているとのこと。 |
| 石川県 | 図面承認が遅いため、工場に空きが出たり、加工から建て方までが短期間となり大変苦慮している様子。見積物件は程よくある様子。Mグレード企業については来年1月までの仕事量は確保している。受注価格が幾分下降傾向にある様子で下落しないように十分な注意が必要。 |
| 福井県 | ・各工場とも主に山積みを消化する状況が続いている。県内物件の大型化傾向の中、新規の中小物件の引き合いがやや低調である。年末から年明けまでの物件は確保しているものの、以降の物件確保に若干の不安を抱えている。 |

# ＜北陸支部＞ 状況報告書

2019年（令和元年） 10月分

提出日 令和 元年 11 月 6 日

(A)

| ① 全構協推進事業の現状 | | ② 支部活動状況 |
|---|---|---|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 北陸支部活動・行事等 |
| 富山県 | 1日（火）技術・品質サポート H 1社 ・R 1社<br>3日（木）技術・品質サポート H 1社 ・R 1社<br>7日（月）富山県中小企業団体中央会・女性部セミナー<br>11日（金）青年部会・第3回役員会<br>25日（金）中小企業青年中央会 富山県大会 | 8日（火）第2回北陸支部役員会・<br>支部共済推進会議（金沢）<br>17日（木）全構協 技術委員会ワーキング |
| 石川県 | 3日（木） 金沢建設業協会50周年記念式典（金沢）<br>11日（金） 第6回三役会、第5回理事会、<br>賛助会員との交流懇談会<br>15～17日（火～木） 鉄骨超音波検査新規実技講習会（金沢）<br>19日（土） 鉄骨超音波検査新規実技試験（金沢）<br>22～23日（火・水） 鉄骨製品検査新規実技講習会（金沢）<br>25日（金） 鉄骨製品検査新規実技試験（金沢）<br>26日（土） 鉄骨製作管理技術者試験（金沢）<br>29日（火） 石川県建設生産システム合理化推進会議（金沢） | |
| 福井県 | 3日（木）鉄骨製作管理技術者講習会（～4日）<br>9日（水）定例役員会<br>15日（火）フルハーネス型安全帯特別教育（～16日）<br>18日（金）共同受注事業に係る会議<br>23日（水）中小企業団体中央会福井県大会 | |

(B)

| ①手持工事量（ヶ月） | | | | ②稼働率（%） | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費（千円） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都道府県 | H | M | R・J | 稼働率（%） | 多い | 普通 | 少ない | S造（H＋H） | S造（コラムH） | SRC造 |
| 富山県 | 6 ～ 13 | 3 ～ 5 | 2 ～ 3 | 80 ～ 110 | | | ○ | 100 ～ 120 | 85 ～ 110 | ～ |
| 石川県 | 3 ～ 12 | 2 ～ 4 | 1 ～ 2 | 90 ～ 100 | | ○ | | 90 ～ 130 | 75 ～ 120 | ～ |
| 福井県 | 5 ～ 11 | 4 ～ 7 | 1 ～ 3 | 80 ～ 110 | | ○ | | 100 ～ 160 | — | — |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|---|---|
| 富山県 | Hグレードは大型物件の端境期と言われながら、半年から1年以上の物件があり工場稼働率は90～110%で推移している。外注費・輸送費・鋼材値上げによるコストプッシュがあり上値を狙いたいが、現状の単価を維持するので精一杯である。M・Rグレードは高力ボルト不足は緩和傾向ではあるが、ゼネコンの力不足による図面承認の遅れが依然としてあり、また見積も少なくなっており、不安感からか一部では弱含みの状態で推移している。 |
| 石川県 | 県外の物件を手掛けるHグレードでは引き合い物件はあるものの、ボルトとコラムの納期が気がかり。年明けから春先は幾分薄い様子。Mグレードは、9～10月は仕事が延期になったりして空きが出ることもあり、仕事はあるものの、先行き不透明感がある。Rグレードでは、年内の仕事は確保しているが、ボルトの入荷に苦慮している。見積りは幾分減少している。受注単価には十分な注意が必要。 |
| 福井県 | ・先月以降比較的安定的な稼働が続いている。高力ボルト供給も昨年同時期ほど大きな問題にはなっていない。しかし、台風関連の自然災害が毎年発生しているため、今後の材料供給に対する不安は一向に拭い去れない。業界挙げての災害対応を考える時期に来ていると感じる。<br><br>・北陸新幹線延伸に先立つ新幹線駅の工事発注に期待が高まっている。新幹線開業に合わせた県都JR福井駅前の大規模再開発スタートが待たれるが、取り壊しと建方時期が確定しておらず受注営業活動は二の足を踏んでいる。 |

# ＜ 中部支部 ＞ 状 況 報 告 書

2019年（令和元年） 9月分

(A)

提出日 2019年（令和元年）11月8日

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|---|---|---|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 中部支部活動・行事等 |
| 岐阜県 | 17 日（火） 東濃支部会<br>27 日（金） 理事会 | 28 日（土） 青年部：中部BC<br>30 日（月） 鉄骨製作管理技術者勉強会 |
| 静岡県 | 25 日（水） 三役会、運営委員会、技術委員会、役員会 | |
| 愛知県 | 6 日（金） 名古屋南支部会<br>9 日（月） 女性部会<br>10 日（火） 技術委員会<br>17 日（火） H部会<br>20 日（金） 全構協：青年部との意見交換会 出席<br>25 日（水） 性能評価申請説明会 | |
| 三重県 | 9 日（月） 第5回理事会<br>「新政みえ」議員団との懇談会<br>20 日（金） 性能評価受験のためのサポート | |

(B)

| ①手持工事量（ヶ月） | | | | ②稼働率（%） | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費（千円） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都道府県 | H | M | R・J | 稼働率（%） | 多い | 普通 | 少ない | S造（H＋H） | S造（コラムH） | SRC造 |
| 岐阜県 | 7 | 3～9 | 3～6 | 80 120 | ○ | ○ | | | 60～120 | |
| 静岡県 | 8～12 | 3～10 | 2～5 | 65 ～ 120 | | ○ | | 80～150 | 80～125 | |
| 愛知県 | 8～19 | 3～7 | 1～3 | 80 ～ 130 | | | ○ | 70～160 | 70～130 | |
| 三重県 | 10～12 | 1～10 | 1～6 | 60 ～ 125 | | ○ | | 70～180 | 65～145 | 150～160 |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|---|---|
| 岐阜県 | ・仕事率、稼働率については安定している。<br>・相変わらずボルトが揃わない。<br>・需要のピークはもうしばらく続きそうです。年明けも少しずつ仕事が入ってきています。 |
| 静岡県 | ・高力ボルトの入手状況が、小ロットの場合には若干緩和してきている話も出はじめた。しかしながら、纏まったロットの場合は依然入手難が続いている模様。直接ゼネコン取引のあるファブの受注山積みについては、各社ボルトの入手可能月まで確保している模様。行政機関も入札と発注と鉄骨建方納期のタイミングに苦慮している状況は変わらない。一時的かもしれないが、関東地区の来年度（4月以降）の工事量が、オリンピックの影響なのか、薄くなっているものと思われる。<br>・春までは山積みいっぱいだが、少し見積依頼が少なくなってきていて、今後どうなるかまったく読めない。ボルトは相変わらず納期9か月程度かかっている。 |
| 愛知県 | ・ＪＩＳ溶接検定試験の受験申し込みが殺到しているようだ。理由は外国人技能者への対応が主であるという。<br>・人材育成の一環や性能評価認定工場としての維持のために必要な検定試験が「新規申請」だと半年以上待ちではいただけない。<br>・今後、仕事量の不足感が漂った時の、高グレード工場のモラル違反の過去例を想い出す。同じ轍を踏んではいけない。<br>・労働人材の確保や定着に関する方策に成功している企業の体験を多く聞きたいとの声も多い。<br>・見積もり物件が少なくなっており、受注決定までも長くなりつつあると思える。 |
| 三重県 | 受注価格に減少傾向が見受けられる。 |

# ＜ 中部支部 ＞ 状 況 報 告 書

2019年（令和元年） 10月分

(A)

提出日 2019年（令和元年）11月8日

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|---|---|---|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 中部支部活動・行事等 |
| 岐阜県 | 9 日（水） 西濃支部会<br>11 日（金） 岐阜支部会<br>16 日（水） 中濃・東濃支部会<br>25 日（金） 理事会<br>29 日（火） 働き方改革関連法セミナー | 1 日（火） 鉄骨製作管理技術者勉強会<br>7 日（月） 中部支部会<br>中部支部共済推進会議 |
| 静岡県 | 23 日（水） 三役会 | |
| 愛知県 | 4 日（金） 運営委員会<br>労働保険事務組合：監査<br>8 日（火） 理事会<br>技術委員会 | |
| 三重県 | 16 日（水） 建築士事務所協会との共催によるUT講習会<br>JSCA三重部会との懇談会<br>24 日（木） 第6回理事会<br>性能評価受験のためのサポート×3回 | |

(B)

| ①手持工事量（ヶ月） | | | | ②稼働率（%） | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費（千円） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都道府県 | H | M | R・J | 稼働率（%） | 多い | 普通 | 少ない | S造（H＋H） | S造（コラムH） | SRC造 |
| 岐阜県 | 3～9 | 3～9 | 1～6 | 60 130 | ○ | ○ | | | 60～150 | |
| 静岡県 | 9～15 | 3～10 | 2～6 | 65 ～ 120 | | | ○ | 80～150 | 65～125 | |
| 愛知県 | 8～18 | 3～6 | 1～4 | 80 ～ 120 | | ○ | | 75～110 | 70～100 | 90～130 |
| 三重県 | 10～12 | 1～10 | 1～6 | 60 ～ 125 | | ○ | | 70～140 | 60～150 | 90～160 |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|---|---|
| 岐阜県 | ・仕事量は多少落ち着いている感じがする。<br>・働き方改革でゼネコンが完全週休二日制で毎週土曜日が休みになったが、現場の蔦やレッカーなど、仮設費や現場管理費に係る費用が増し、負担増しとなっている。<br>・12月、1月にかけて受注の空きが出てきています。2月以降は仕事はありますが、バラツキがあります。 |
| 静岡県 | ・纏まったロットの高力ボルトの入手状況については、6～8ヶ月の納期が定着しており、直接ゼネコン取引のあるファブの受注山積みについては、各社ボルトの入手可能月まで確保している模様。関東地区の来年度オリンピック開催前あたりの工事量が、一時的に薄くなる傾向が見られるようだが、秋口からはその反動からか大型物件が多数引き合いに出ている模様。<br>・ボルト納期が少し改善されたが、依然として不安が残る。<br>・高力ボルト5千本以上になると、6～7か月の納期が掛かり、溶融亜鉛メッキ高力ボルトになると時間は更に掛かる。<br>・人材不足を強く感じるという意見を聞くが、これからはもっと強くなると思われる。 |
| 愛知県 | ・これほどまでに自然災害が多いと「自社が巻き込まれた時の企業存続への対応」を心配している声が散見される、<br>・高力ボルト情報を、ひっ迫感が無くなるまで流し続けて欲しい。<br>・H形鋼が￥70/kg割れの噂情報も流れ始めている。加工費も同じ歩調かと心配する構成員もいる。<br>・来秋までは、仕事量に不安を覚える小規模事業者の傾向性を感じられる。<br>・小規模構成員にとって「職人の高齢化＆職人不足」は差し迫った死活問題である。 |
| 三重県 | ・受注価格が減少傾向にある。<br>・来年春頃までは、物件数が少なくなるのでは？<br>・R、Jグレードの物件が厳しくなるのでは？ |

# ＜ 全構協近畿支部 ＞ 状 況 報 告 書

2019年（令和元年）9月分

提出日 令和元年10月8日

（A）

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|---|---|---|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 近畿支部活動・行事等 |
| 滋賀県 | 6日 勉強会「外国人技能実習生制度」について<br>11日 理事会、認定工場部会 18日 性能評価説明会 | 19日 全構協第5回理事会<br>20日 全構協 各都道府県青年部との意見交換会<br>24日 近畿支部事務局長会議<br>25・26日 鉄骨製作管理技術者講習会2級 27・28日 鉄骨製作管理技術者講習会1級 |
| 京都府 | 27日 運営委員会 | |
| 大阪府 | 4日 技術委員会 5日 運営共済事業委員会 6日 東大阪支部会 11日 市内支部会 19日 大阪・兵庫合同運営委員会 26日 北大阪支部会 | |
| 兵庫県 | 19日 大阪・兵庫合同運営委員会 20日 三役会 | |
| 奈良県 | 3日 三役会、第4回理事会 20日 共済・経営近代化委員会 30日 教育・認定臨時委員会 | |
| 和歌山県 | 30日 後期工場審査 勉強会 | |

（B）

| ①受注物件件数（カ月） | | | | ②稼働率（%） | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費（千円） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都道府県 | H | M | R・J | 稼働率（%） | 多い | 普通 | 少ない | S造（H＋H） | S造（コラムH） | SRC造 |
| 滋賀県 | 8 ～ 12 | 4 ～ 10 | 1 ～ 4 | 80 ～ 100 | | ○ | | 65 ～ 140 | 70 ～ 85 | ～ |
| 京都府 | 3 ～ 12 | 3 ～ 8 | 1 ～ 4 | 80 ～ 110 | | ○ | | 75 ～ 110 | 75 ～ 120 | ～ |
| 大阪府 | 6 ～ 11 | 3 ～ 5 | 2 ～ 3 | 70 ～ 100 | | ○ | | 80 ～ 120 | 70 ～ 100 | 90 ～ 130 |
| 兵庫県 | 8 ～ 10 | 3 ～ 6 | 2 ～ 3 | 80 ～ 100 | | ○ | | 80 ～ 90 | 70 ～ 90 | ～ |
| 奈良県 | ～ | 3 ～ 8 | 1 ～ 5 | 80 ～ 110 | | ○ | | 90 ～ 120 | 60 ～ 110 | ～ |
| 和歌山県 | 8 ～ 12 | 8 ～ 10 | 4 ～ 8 | 80 ～ 100 | | | ○ | 80 ～ 120 | 70 ～ 100 | 90 ～ 120 |

（C）

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|---|---|
| 滋賀県 | 足元～来春にかけては以前と比べて引合いが少ないとの報告。ただ今後の関西全域ではかなりの物量は見込んでいるため一時的か。 |
| 京都府 | ﾎﾞﾙﾄ納期で工程が決まる為先の話はありますが予定のずれ等にて山谷が出ており受注が難しい状況が続いています。大きな変化は無く2020年は引き続き忙しいように思います。ただ他の産業では、暇になってる分野もあるので2021年以降について、より情報収集をしなくてはいけないと思っています。今月ん入っても見積件数が少なく、来年に向けての仕事が決まるが不安です。 |
| 大阪府 | 高力ﾎﾞﾙﾄの供給は相変わらず不足気味で、10・11月納期予定が遅れている。人手不足の影響も受け続けている模様。直近の山積みはそこそこあるが、年末から年明けの受注量にばらつきを感じる。Mでは年明け新規物件の動きが少なく、Rでは見積が減少気味。H型鋼の高炉材の値段が逆の動きをしているので、材料手配に注意が必要。コラム・板材は強い値動きである。消費税増税の影響はさほど感じられないが、どうしても気になるのが海外情勢の動向であり中東問題・米中摩擦により簡単に景気が左右しそうなので、予断を許さない状況。今そこそこの値で仕事があると言って安心できない。 |
| 兵庫県 | 依然として高力ﾎﾞﾙﾄの入手難は出口が見えてこない状況で、特にM22サイズの長もの、メッキHTBの入手に苦労している状態。仕事量は各ｸﾞﾚｰﾄﾞ共、安定しているように思われる。 |
| 奈良県 | ・HTB（ﾊｲﾃﾝｼｮﾝﾎﾞﾙﾄ）の入荷目処が経たず、新規物件の対応が難しい。<br>・相変らずﾎﾞﾙﾄ不足に伴い、構造が鉄骨から木造への変更になる物件も有ります。<br>・年内～来年冬頃まで決まった仕事は有るが、その先の見積もり・物件が少ない様に思う。 |
| 和歌山県 | 米中関係の悪化や設備投資の鈍化による建設需要に減速ムードが強まっている。需要に見合う生産量の調整にシフトしなければならないか。 |

# ＜ 全構協近畿支部 ＞ 状 況 報 告 書

2019年（令和元年） 10月分

提出日 令和元年11月8日

（A）

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|---|---|---|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 近畿支部活動・行事等 |
| 滋賀県 | 9日 理事会・認定工場部会<br>19日 滋賀けんせつみらいフェスタ出展 | 26日 鉄骨製作管理技術者試験<br>29日・30日 移動近畿支部会 仙台東北支部との交流会 |
| 京都府 | 3日 10月度理事会 3日 植月先生との研修会打合せ<br>4日 全国RJ会部会連絡会 17日 京都中・西合同支部会 | |
| 大阪府 | 1日後期性能評価説明会 4日大阪・兵庫合同技術委員会<br>6日 北支部会 16日 第3回定例理事会 26日 南支部会 | |
| 兵庫県 | 2日後期性能評価説明会 4日大阪・兵庫合同教育技術委員会 | |
| 奈良県 | 7日 共済業者挨拶回り 16日 ゴルフコンペ・懇親会<br>18日共済業者意見交換会 24日 三役会 | |
| 和歌山県 | 7日 近代化委員会 25日 塗料共済推進 | |

（B）

| ①受注物件件数（カ月） | | | | ②稼働率（%） | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費（千円） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都道府県 | H | M | R・J | 稼働率（%） | 多い | 普通 | 少ない | S造（H＋H） | S造（コラムH） | SRC造 |
| 滋賀県 | 10 ～ 13 | 4 ～ 7 | 1 ～ 4 | 80 ～ 110 | | ○ | | 65 ～ 125 | 65 ～ 85 | ～ |
| 京都府 | 10 ～ 12 | 8 ～ 10 | 2 ～ 3 | 90 ～ 100 | | ○ | | 80 ～ 100 | 80 ～ 120 | ～ |
| 大阪府 | 7 ～ 11 | 3 ～ 6 | 2 ～ 3 | 70 ～ 100 | | | ○ | 80 ～ 120 | 70 ～ 110 | 90 ～ 130 |
| 兵庫県 | 10 ～ 12 | 3 ～ 6 | 2 ～ 3 | 90 ～ 100 | | ○ | | 80 ～ 90 | 70 ～ 80 | ～ |
| 奈良県 | ～ | 6 ～ 7 | 4 ～ 6 | 80 ～ 120 | | ○ | | 90 ～ 120 | 80 ～ 110 | ～ |
| 和歌山県 | 8 ～ 12 | 8 ～ 10 | 4 ～ 8 | 80 ～ 100 | | | ○ | 80 ～ 120 | 70 ～ 100 | 90 ～ 120 |

（C）

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|---|---|
| 滋賀県 | 大型物件は活発な引き合いだが中小物件は来春なで小休止状態か？足元の半年の引合は少なそう。価格維持を意識した受注がポイントか？HTBはM22・メッキを除いては若干の在庫も見られる。 |
| 京都府 | 見積、引合共減少傾向に感じる。一時的かもしれない。手持ち工事量が有るので、あせって受注競争に加わる事は無い。高力ボルト納期も緩和されて来ているのも、仕事量減少につながっている為か現在高力ボルト納期4ケ月程度でこれ以上緩和されなくても良い気がする。来春以降の動きが鈍くなっているように感じます。今、鉄骨業界は未だ忙しくさせて頂いておりますが他業種では、そうでもないところが出て来ており夏以降の仕事量が心配です。 |
| 大阪府 | HTB納期は相変らず6ケ月、コラム・H型鋼・鋼板の一次加工は短納期である。見積依頼は概算見積が多く、また計画変更も多い（予算に納まらず大幅な変更）。各社共多少のばらつきがあるが、3～6ケ月先の受注は確保できている模様。その中で、どうしてもキーワードになるのが、人材確保、働き方改革への取組になる。今後もその対応に迫られる。 |
| 兵庫県 | 高力ボルトの入手難は相変らずだがM16、20に関しては少し納期が短くなったとの情報もあり、物件によっては施主の段取りで入手した物件もあるといった情報もある。働き方改革の影響で、休日や残業の調整が難しくなってきているとの意見も聞かれる。 |
| 奈良県 | 来年夏以降の依頼も出て、ボルトの件が落ち着きだすと逆に鉄骨単価の下げ合いが始まらないか心配。HTB納期問題の影響により、S造計画をRC造に変更もしくは計画変更が出ており、来年も注意が必要。ホテル等の屋上看板でLED大型サインが多くなって来た。また人材も少なく建方なども困っています。 |
| 和歌山県 | 円安ムードから株価安定し、経済環境が良い雰囲気だと思うが、物件の数が出てこないことを不安視している。このところボルトに関しては急な手配を別として、段取りがついてきた。2020年のオリンピック直後の需要が気がかりです。 |

# ＜ 中国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2019年(令和元年) 9月分

(A)

提出日 令和元年 10月10日

| ①全構協推進事業の現状 | | | ②支部活動状況 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | | 中国支部活動・行事等 | | |
| 鳥取県 | 9 日 (月) | 東部支部例会 | 28 日 | (土) | 全青会中国BC役員会(下関) |
| | 20 日 (金) | 第14回島根・鳥取交流会(米子),青年部との意見交換会(東京) | | | |
| | 21 日 (土) | 経営力向上研修会(米子)～鳥取・島根共同事業 | | | |
| 島根県 | 2 日 (月) | 青年部会第2回役員会 | | | |
| | 20 日 (金) | 第14回島根・鳥取交流会(米子),青年部との意見交換会(東京) | | | |
| | 21 日 (土) | 経営力向上研修会(米子)～鳥取・島根共同事業 | | | |
| 岡山県 | 20 日 (金) | 青年部との意見交換会(東京) | | | |
| 広島県 | 3 日 (火) | 日本建築学会学術大会 鉄骨技術開発 研究発表(金沢) | | | |
| | 18 日 (水) | サポート委員会 | | | |
| | 19 日 (木) | 全構協理事会(東京) | | | |
| | 20 日 (金) | 全構協特別委員会、青年部との意見交換会(東京) | | | |
| | 22,23 日 | 鉄骨製作管理技術者講習会 | | | |
| 山口県 | 20 日 (金) | 青年部との意見交換会(東京) | | | |

(B)

| ①手持工事量(か月) | | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費(千円) | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都道府県 | H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H+H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 鳥取県 | 7 ～ 14 | 2 ～ 7 | 2 | 90 ～ 110 | | ○ | | 80～120 | 70～120 | 80～130 |
| 島根県 | 9 ～ 10 | 2 ～ 5 | 1 ～ 2 | 50 ～ 100 | | ○ | | 80～130 | 80～130 | - |
| 岡山県 | 6 ～ 22 | 4 ～ 12 | 3 ～ 5 | 80 ～ 100 | | | ○ | 65～90 | 65～90 | 90～110 |
| 広島県 | 13 | 5 ～ 8 | 2 ～ 5 | 80 ～ 120 | | | ○ | 60～115 | 60～110 | 100～120 |
| 山口県 | 10 ～ 13 | 3 ～ 6 | 2 ～ 3 | 50 ～ 100 | | | ○ | 100～120 | 100～140 | 145～155 |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|---|---|
| 鳥取県 | HTB供給難は緩和の声も聞くが、通常納期への回復は程遠く、客先に対し、未だに工程調整をお願いし続けている。<br>ボルト問題も含め、中長期的な仕事量の減少を予測する向きも多く、鉄骨単価の維持・確保(値崩れ防止)に注力する必要がある。<br>Hグレードは、SRCとRCSS物件を中心に、来年4月～来年一杯までの仕事量を確保している。<br>来年度については、引き合い物件はありそうだが、働き方改革等の調整で状況判断が必要となる。<br>GCから3DCADを活用した施工図作成の要望が増えており、焦点となるオペレーターの教育・確保では、外国人技術者活用を検討する必要性が増加すると思われる。 |
| 島根県 | 落ち着いた仕事状況ではあるが、年内の工事量は、小規模工事を中心に概ね確保出来ている模様。<br>また、高力ボルトの供給問題による工事遅れや受注不可に関しての大きな改善は見受けられない状況。<br>年明け以降に関しては、一部に案件が動きだしたところもあるようだが、依然として先行き不透明感が漂う状況である。 |
| 岡山県 | 公共工事の最盛期を迎えているが、都心部を相手にするHグレード以外は一息ついた状態となっている。<br>ボルトの入手難から、工事の中止やPCや木造への変更のケースが発生しており、これから繁忙期に向けての受注確保についても、先行き不安感が漂っている。<br>ボルト問題に対する業界としての対応が後手を踏み、最悪の状況を引き寄せていることを強く懸念する。 |
| 広島県 | 以前の繁忙期から一段落との声もあるが、稼働率100%以上と回答の企業が8割の状況で稼働率は高水準。<br>手持ち工事量は、H・Mでは5か月から1年超確保されているが、R以下では、ほぼ5か月以下と顕著な格差が出ている。<br>ボルト問題は解消に向かっているが、短納期・小物件を中心に受注を制限される実情を訴える声が依然としてある。<br>また、物件や見積の減少傾向とあわせて、来春以降の回復予想に対し、先行き不透明と感じる声につながっている。<br>一方で、来春以降の物件の見積依頼が急増し、来年の仕事の確かな感触を報告するファブもある。<br>その他、GC担当者の経験・能力不足から生じる工程の遅れ解消のため、GC若手の指導・教育の必要性を訴える声がある。<br>また、全国的に災害が多発する中、ファブ向けの比較的安価な損害保険(工場、機械を補償)を待望する声も上がっている。 |
| 山口県 | 手持工事量は年内いっぱい確保しているものの、全体的に受注物件数・見積物件数ともに少なくなっている様子。<br>「確認申請待ちの物件が数件あるため10月から本格的に稼働し、11月以降は忙しくなりそうです。」と話すファブや「上位グレードの端境期により11月～来年5月までは稼働率が50～80%になる見込みだが、その先の繁忙期に向けて人や場所の対策を検討してる」と話すファブもいる。<br>今月もボルト不足の影響でファブ同士で仕事をやり取りしている地域もある。<br>来春以降は工事量も増えそうなため、価格の維持に努め、来年からの動向に注目したい。 |

# ＜ 中国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2019年(令和元年) 10月分

提出日 令和元年 11月8日

(A)

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|---|---|---|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 中国支部活動・行事等 |
| 鳥取県 | 16 日 (水) 東部支部例会 | 3 日 (木) 第4回中国支部会<br>全構協幹部との懇談会<br>17 日 (木) 全構協・技術委員会 |
| 島根県 | 17 日 (木) 第5回役員会<br>第3回青年部役員会 | |
| 岡山県 | 8 日 (水) 工場審査(1社)<br>15 日 (火) 理事会 | |
| 広島県 | 16 日 (水) 三役会・理事会<br>26 日 (土) 鉄骨製作管理技術者試験<br>29 日 (火) 日本鉄連主催「建築用鋼材と利用技術セミナー」<br>31 日 (木) 県中小企業団体中央会 理事会・講演会 | |
| 山口県 | 2 日 (水) 三役会議<br>10 日 (木) 第4回理事会<br>性能評価事前説明会(元年後期) | |

(B)

| ①手持工事量(か月) | | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費(千円) | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都道府県 | H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H+H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 鳥取県 | 6 ～ 14 | 2 ～ 6 | 1 ～ 2 | 90 ～ 120 | | ○ | | 70～120 | 70～90 | 80～120 |
| 島根県 | 8 ～ 14 | 2 ～ 4 | 1 ～ 2 | 50 ～ 100 | | ○ | | 80～130 | 80～130 | - |
| 岡山県 | 6 ～ 22 | 4 ～ 18 | 3 ～ 5 | 90 ～ 100 | | | ○ | 65～90 | 65～90 | 90～110 |
| 広島県 | 12 ～ 13 | 3 ～ 8 | 1 ～ 6 | 50 ～ 120 | | | ○ | 60～115 | 60～110 | - |
| 山口県 | 5 ～ 11 | 3 ～ 8 | 3 ～ 7 | 90 ～ 110 | | | ○ | 100～125 | 95～135 | 145～155 |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|---|---|
| 鳥取県 | 年末に向けて県・鳥取市からの発注が複数あるが、年内はファブが手一杯なので、受注バランスを考えて手分する必要がある。<br>Hグレードは来年3月末まで手持ち工事を確保しており、4～6月の物件を検討中。コラム物件が多いため残業を余儀なくされているが、働き方等の状況判断が必要。 |
| 島根県 | 全般に、中小物件が中心だが、年内の工事量は概ね確保出来ている模様で、年明けくらいまで繁忙なファブもある。<br>また、高力ボルトの供給問題による工事遅れや受注不可に関しての大きな改善は見受けられず、引続き安定的供給を望む声が高い。<br>年明け以降に関しては、一部に受注案件を持ったファブもある模様だが、先行き不透明感が漂う状況は持続している。 |
| 岡山県 | 繁忙期になったが、ここ数年の勢いは無く、一歩間違えば再び値崩れの恐れのある状況。<br>Hグレードを中心とした首都圏を顧客とする会社は安定しているが、M以下は完全に状況が下降している。<br>ここで踏み止まり価格を維持する努力が必要であるが、ボルト問題の解決が見込めず、状況悪化に拍車をかけている。<br>折角の建築需要に対して「S造はボルトが無く対応できないため、コンクリートあるいは木造へシフトするべき」という風潮があり、<br>現状の無策では、この風潮に抗うことはできない。 |
| 広島県 | 稼働率100%以上と回答の企業が7割を占めており、稼働率は依然として高水準で推移している。<br>手持ち工事量は、Hグレードでは1年超、Mは4か月以上、R以下がほぼ3か月以下と、グレード間で顕著な格差が生じている。<br>今後の見通しもグレードで異なり、Rグレード以下を中心に、物件や見積の長期減少傾向に対し、先行きを不安視する声が多く、<br>他方、Hは勿論、Mグレードでは、物件・見積共に増加し、少なくとも来年前半まで多忙と、先行きを楽観するファブが複数ある。<br>ボルト問題は相当程度改善され、それを受けてGCが積極的な受注に転換することで、見積り増加を予測する声がある一方で、<br>依然として、工事の先延ばしや木造への設計変更等の影響報告がされている。<br>その他、鳶工の不足が深刻で、現場の段取りに苦慮する声も上がっている。 |
| 山口県 | 手持工事量は確保しているものの、見積件数が減ったとの声が多い。<br>図面承認の遅れや確認申請待ち、工期変更により、工程が思うように進捗せず、見込み通りに工場を稼働できないケースが目立ち、<br>手持工事の重複に苦慮しているファブもいる。 今月もボルト不足の状態に目立った改善はみられない。<br>価格の維持に努めているが、鋼材価格の一時的な値下がりはそろそろ反転が予想され、春先からの価格に注意したいとの声もある。<br>春先以降は工事量も増えそうだが、年内及び年明けまでは減少傾向のため、今のうちに人や場所の対策を検討したい。 |

# ＜ 四国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2019年（令和元年） 9月分

提出日 令和元年 10月23日

(A)

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|---|---|---|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 四国支部活動・行事等 |
| 徳島県 | 10日（火） 正副理事長会・第6回情報交換会<br>2日・11日 UT－1学科講習会 | 27日（金） 四国支部会<br>全構協（三役）との意見交換会 |
| 香川県 | 3日（火） 性能評価工場審査サポート<br>6日（金） 性能評価工場審査サポート<br>9日（月） 組合親睦ゴルフコンペ打合せ<br>11日（水） 働き方改革講習会 | |
| 愛媛県 | 5日（木） 東予地区会<br>25日（水） 理事会・「決算書の見方」研修会 | |
| 高知県 | 2日（月） 理事会 | |

(B)

| ①受注物件件数（ヵ月） | | | | ②稼働率（%） | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費（千円） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都道府県 | H | M | R・J | 稼働率（%） | 多い | 普通 | 少ない | S造（H＋H） | S造（コラムH） | SRC造 |
| 徳島県 | 3 ～ 8 | 2 ～ 3 | 2 ～ 4 | 90 ～ 100 | | | ○ | 60 ～ 115 | 60 ～ 115 | ～ |
| 香川県 | ～ | 2 ～ 5 | ～ | 90 ～ 100 | | | ○ | 55 ～ 100 | 60 ～ 110 | ～ |
| 愛媛県 | 7 ～ 8 | 3 ～ 6 | 4 ～ 7 | 90 ～ 100 | | ○ | | 50 ～ 100 | 50 ～ 100 | ～ |
| 高知県 | 6 ～ | 3 ～ 9 | 1 ～ 3 | 70 ～ 100 | | | ○ | 50 ～ 100 | 50 ～ 110 | ～ |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|---|---|
| 徳島県 | 9月も、県内の見積物件は少ない。各社、年内の仕事量は確保できているが、Hグレード以外は、春先以降の仕事量に不安がある。　仕事量の減少による安値受注を回避するよう心掛ける。 |
| 香川県 | 見積物件は、多少増えているFABもあるが全体的には少ない。また、中・小型物件の動きが鈍化していており、年末年始の建方物件および来年度の見通しは不透明とするFABが多い。 |
| 愛媛県 | ・各社手持ち工事量は各社とも豊富だが、グレード上位工場を中心にこの夏場の仕事量が薄く、秋～年末から忙しくなる前に前倒しで工場加工していることもあり、8・9月では稼働率が100%に届かないことも。<br>・高力ボルトについては入り易くなった。落ち着いたとの認識が大半で、入手難の教訓から早め早めの発注を心がけているとの事。 |
| 高知県 | M、Rグレード見積件数が少なくなっており、特にRグレードの件数は極端に少なかった。現状は手持ち工事があるが先行きは不安。 |

# ＜ 四国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2019年(令和元年) 10月分

提出日 令和元年 11月 8日

(A)

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|---|---|---|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 四国支部活動・行事等 |
| 徳島県 | 1日(火) 第7回情報交換会<br>13日(日)～15日(火) 親睦旅行(沖縄・宮古島)<br>18日、21日、23日、24日、29日、29日、30日、31日 UT1実技講習会<br>21日(月) 理事会<br>28日(月) AW検定(再)準備講習会 | 9日(水)、10日(木) 鉄骨製作管理技術者講習会 |
| 香川県 | 16日(水) 第4回理事会 | |
| 愛媛県 | 3日(木) 東予地区会<br>5日(土) 青年部例会<br>6日(日) 青年部会・協賛店懇親ゴルフ大会 | |
| 高知県 | 7日(月) 中央会組合講習会<br>18日(金) 青年部交流会 | |

(B)

| ①受注物件件数(ヵ月) | | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費(千円) | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都道府県 | H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H+H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 徳島県 | 2 ～ 10 | 3 ～ 4 | 1 ～ 3 | 90 ～ 100 | | | ○ | 65 ～ 115 | 65 ～ | 70 ～ 115 |
| 香川県 | ～ | 2 ～ 6 | ～ | 80 ～ 100 | | | ○ | 55 ～ 100 | 60 ～ 110 | ～ |
| 愛媛県 | 6 ～ 8 | 2 ～ 5 | 3 ～ 6 | 90 ～ 100 | | ○ | | 50 ～ 100 | 50 ～ 100 | ～ |
| 高知県 | 6 ～ | 3 ～ 9 | 1 ～ 3 | 70 ～ 100 | | | ○ | 50 ～ 100 | 50 ～ 110 | ～ |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|---|---|
| 徳島県 | 10月も見積り件数は少ない状況。特に小型物件が非常に少ない。R・Jグレードは、先行き不安。まずは工場が遊ばないように組合員同士で声がけして仕事を分け合う。 |
| 香川県 | ゼネコン・設計事務所ともに県内の見積り件数は少ないが、設計プランの概算見積りは若干でている。また、県外案件はプラントほか昨年度並みの依頼があり、トータル的にはバランスが取れているように思われる。しかし、先は見えていないとするFABもある。 |
| 愛媛県 | ・この先を占う見積数は各社様々であるが、見積が多い所も少ない所も前期とほぼ同数を確保しており、今後の状況は悪くない。<br>・県内の見積状況について東予地区では製造業が多く、設備投資が多い地区であるが、同規模の認定工場が1～2社しかない地域が多く、見積依頼は必然と多くなる。中予地区では松山市内でのホテル等の再開発大型物件の見積もりが出ている。 南予地区では見積物件は少なく、中予地区の物件見積多い。 |
| 高知県 | M、Rグレード見積件数が少なくなっている。価格は弱含みの横這い傾向。現状は手持ち工事があるが先行きは不安。 |

# ＜ 九州支部 ＞ 状 況 報 告 書

2019年(令和元年)9月分

提出日 令和元年10月3日

(A)

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|---|---|---|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 九州支部活動・行事等 |
| 福岡県 | ・ 4日(水) 性能評価後期認定説明会<br>・18日(水) 技術委員会 | 9/2 鉄骨製作管理技術者講習会講師打合せ会<br>11日(水) 九州支部H部会役員会、<br>品質・安全パトロール委員会、例会<br>9/25～27 鉄骨製作管理技術者学科講習会 |
| 佐賀県 | 9/6 フルハーネス型安全作業特別講習会 9/19 定例理事会・全体協議会<br>長崎、佐賀合同研修会 | |
| 長崎県 | 9/19 第4回理事会、9月例会、佐賀県との合同研修会、交流会<br>9/21 溶接競技会参加、9/25 長崎県建築鉄骨研究会 第2回作業部会 | |
| 熊本県 | 9/18 理事会・定例会 | |
| 大分県 | 9/12三役会、理事会、第1回全員協議会、安全帯商品説明会、懇親会 9/18令和2年度後期認定申請者向け説明会 | |
| 宮崎県 | (7)自民党政経セミナー参加 (13)全青会九州ブロック会研修事業参加(宮崎県開催) | |
| 鹿児島県 | 6日理事会・創立50周年実行委員会 7～8日、14～15日特別教育(クレーン)<br>19日特別教育(フルハーネス) | |
| 沖縄県 | ・9/3日:定例理事会、6日:建専連役員会議、10日:定例営業部会, | |

(B)

| ①手持工事量(ヵ月) | | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費(千円) | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都道府県 | H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H+H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 福岡県 | 6 ～ 12 | 4 ～ 6 | 1 ～ 3 | 100 | | | ○ | 90～130 | 90～120 | — |
| 佐賀県 | 6 | 3 ～ 8 | 2 ～ 4 | 90～100 | | | ○ | 80～110 | 70～115 | — |
| 長崎県 | 7 ～ 10 | 3 ～ 8 | — | 100 | | | ○ | 100～140 | 90～140 | — |
| 熊本県 | 7 ～ 8 | 3 ～ 7 | 3 ～ 7 | 94.8 | | | ○ | 70～90 | 70～100 | — |
| 大分県 | 6 ～ 11 | 3 ～ 4 | — | 80～100 | | ○ | | 105～110 | 80～100 | — |
| 宮崎県 | 9 ～ 12 | 5 ～ 6 | 1 ～ 3 | 80～120 | | ○ | | 70～90 | 60～100 | — |
| 鹿児島県 | 8 ～ 15 | 1 ～ 10 | 3 | 80～120 | | | ○ | 90～120 | 65～120 | — |
| 沖縄県 | 3 ～ 4 | 2 ～ 3 | 1 ～ 2 | 90～100 | | ○ | | 120～130 | 90～120 | |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|---|---|
| 福岡県 | 手持工事量は順調に推移しているが、見積物件の届け出は少ない。ただし、依然として高力ボルト不足状況 |
| 佐賀県 | ・工事量、工場稼働率にあまり変化はないが、見積りが減少しており、先行きに不安要素が出てきている。<br>・年内の仕事量は確保しているが、見積りが少なく来年度に影響が出そう。 |
| 長崎県 | Hグレード、Mグレードの上位層の受注は堅調に推移しており、半年以上の受注を抱えている。中小規模の建物に目を向けると発注に足踏みする物件が多く、先行きは思わしくない。年度末にかけての各社の受注状況は2極化していくのではないか。 |
| 熊本県 | 再開発事業と若干の公共工事が出件予定。 |
| 大分県 | ◎全てのグレードで繁忙期に入っている。ボルトの影響はまだ続いているが若干和らいだような感じを受ける。◎年末まで忙しいが来年は不明。 |
| 宮崎県 | ・依然として高い稼働率をキープしており、この状況は年内一杯続く見込みであるが、中小物件の見積りが減少していることから、年明けの仕事量に影響が出ないか伊具している。 |
| 鹿児島県 | 図面修正、施工図決定の遅れが多い。また、工程の変更などにより別物件との対応に苦慮している。年内は忙しそうだが、来年はどうなるか。年明けの仕事量が減少するのではと心配。 |
| 沖縄県 | ・仕事量・工場稼働率に大きな変動はないが、見積もり件数、物件の動きは鈍くなっている。 ボルト納期と建築コストの上昇が影響。 |

# ＜ 九州支部 ＞ 状 況 報 告 書

2019年(令和元年)10月分

提出日 令和元年11月6日

(A)

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|---|---|---|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 九州支部活動・行事等 |
| 福岡県 | ・ 8日(火) 福岡県建築鉄骨協議会運営委員会<br>・16日(水) 理事会、例会(全体会議)<br>・17日(木) 当会顧問 福岡県議会議員 原口剣生 語る集い(県政報告会)<br>・28日(月) 当会顧問 衆議院議員 井上貴博 政経文化セミナー | 10/1～10/3 九州支部H部会海外研修会(台湾)<br>・10/10 第4回九州支部理事会<br>・10/10 九州支部・H部会・商社との懇談会 |
| 佐賀県 | 10/2 品質・安全パトロール(組合企業3社) 後期工場審査説明<br>10/24 中小企業団体中央会 情報連絡会議 | |
| 長崎県 | 10/16 長崎県建築鉄骨研究会 第3回専門委員会、<br>10/29 長崎県建築鉄骨研究会 鉄骨製作工場見学会 | |
| 熊本県 | 10/23 理事会<br>10/23 鉄骨問題協議会技術委員会 | |
| 大分県 | 10/24三役会・理事会・認定部会 | |
| 宮崎県 | (8)第3回理事会開催 (4・9)認定審査サポート (23)要望活動実施(県副知事・教育長) (24～26)組合親睦旅行(四国) (29)超音波検査技術者実技試験対策講習会開催 | |
| 鹿児島県 | 10/18三役会 10/25青年部会役員会 | |
| 沖縄県 | ・10/1日:定例理事会、8日:営業部会、28日:安全・衛生パトロール | |

(B)

| ①手持工事量(カ月) | | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費(千円) | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都道府県 | H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H+H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 福岡県 | 6 ～ 12 | 4 ～ 6 | 1 ～ 3 | 100 | | | ○ | 90～130 | 90～120 | ― |
| 佐賀県 | 6 | 3 ～ 10 | 1 ～ 4 | 80～100 | | | ○ | 80～110 | 85～115 | ― |
| 長崎県 | 7 ～ 10 | 3 ～ 8 | ― | 100 | | | ○ | 100～140 | 90～140 | ― |
| 熊本県 | 5 ～ 8 | 3 ～ 8 | 2 ～ 4 | 94.8 | | | ○ | 80～110 | 65～100 | ― |
| 大分県 | 6 ～ 12 | 3 ～ 4 | ― | 100 | | | ○ | 105～110 | 80～100 | ― |
| 宮崎県 | 9 ～ 12 | 5 ～ 6 | 1 ～ 3 | 80～120 | | ○ | | 70～90 | 60～100 | 75～95 |
| 鹿児島県 | 6 ～ 15 | 1 ～ 7 | 3 | 80～120 | | | ○ | 90～130 | 65～120 | ― |
| 沖縄県 | 3 ～ 3.5 | 2 ～ 3 | 1 ～ 2 | 80～100 | | ○ | | 120～130 | 90～120 | ― |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|---|---|
| 福岡県 | 手持工事量は順調に推移しているが、依然として高力ボルトの不足が受注に影響いている。(特に小規模の工事) |
| 佐賀県 | ・見積り件数が少なくなっている。特に小物件が少ない。<br>・高力ボルトの入荷状況が少し改善しており、年度末にかけて工場稼働率が上がってくるようだ。 |
| 長崎県 | 現在は高い稼働率で各社推移している。ただし先行きとしては半年以上の山積みを抱えているFabもあるが、そうでないFabも出てきている。春頃は物件が切れてくる工場が出てくるのではないか。 |
| 熊本県 | 公共事業がRCになるケースが増えてきている。 |
| 大分県 | ◎月末まで全グレードを通して忙しい。ただ来年、若干仕事が薄いところもあるがFABに焦りはないので、単価が下がることはない。仲間内で仕事を分け合っている。来年度もまだ不透明ではあるが期待できる。◎2020年夏くらいまで仕事は決まっている。 |
| 宮崎県 | ・地域、グレードに関係なく手持ち工事量・稼働率共に安定している。しかしながら見積り件数の減少をあげるFABが少しずつ増えており、来年度以降は先行き不透明。 |
| 鹿児島県 | 年内仕事はあるが、工期が間に合わない物件ばかり。来年度以降の見積りが減りつつある。ボルト不足周知のためか消費税増税の駆け込みもなく、粛々と加工を行っている。 |
| 沖縄県 | ・図面承認の遅延が工場稼働に大きく左右されている。運搬トラックの確保が難しくなっている。 |